

平成 25 年度

教育委員会の事務の点検・評価報告書

平成 26 年 10 月

始良市教育委員会

目 次

| | | |
|-----|--------------------------------------|----|
| I | 教育委員会点検・評価制度の概要等について・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 |
| II | 平成 25 年度教育委員会事務局の点検・評価について・・・・・・・・ | 2 |
| | 教育委員会事務局 | |
| | (1) 教育総務課・・・・・・・・・・・・・・・・ | 3 |
| | (2) 学校教育課・・・・・・・・・・・・・・・・ | 4 |
| | (3) 社会教育課・・・・・・・・・・・・・・・・ | 5 |
| | (4) 図書館・・・・・・・・・・・・・・・・ | 6 |
| | (5) 保健体育課・・・・・・・・・・・・・・・・ | 6 |
| III | 教育委員の平成 25 年度点検・評価・意見・要望等について・・・・ | 7 |
| IV | 外部評価委員の平成 25 年度点検・評価・意見・要望等について・・・・ | 11 |
| V | 始良市教育委員会事務事業点検・評価シート・・・・別冊 | |
| | 【資料】 | |
| | 教育委員・外部評価委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・ | 16 |
| | 始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則・・・・ | 17 |
| | 始良市教育委員会外部評価委員会規程・・・・・・・・・・・・・・・・ | 18 |

I 教育委員会の点検・評価制度の概要等について

1 制度の概要について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）の一部改正により、平成 20 年度からすべての教育委員会が、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」を行い、その実施に当たっては、学識経験者の知見活用を図るものと規定された。

また、その結果については議会へ報告し、市民に対して公表することも規定されている。（以下「条文抜粋参照」）

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 始良市教育委員会の点検・評価の実施方針について

始良市教育委員会において、平成 25 年度に実施した事務事業の内容について、始良市の教育(教育行政要覧)の各課重点施策を基本に、評価項目を 47 の項目に分類する。事務事業自己点検・評価シートを作成し、教育委員会事務局内部で評価を実施した後、各教育委員の点検・評価を受け、その後、教育に関し学識経験を有する 5 名で組織する外部評価委員会を開催し、点検・評価実施後に、報告書を取りまとめる。

9 月定例教育委員会での議決を経て、平成 26 年第 3 回定例会(9 月議会)へ提出する。

また、報告書は平成 26 年 10 月以降、始良市のホームページ等を活用して市民への公表を行うこととする。

3 評価点数結果及び各課の評価項目件数について(別紙 V 市教育委員会事務事業評価シート参照)

47 評価項目の合計評価点数は平均 4.5 点、合併して 4 年が経過したことから、課題もある程度整理でき、事業目的の共有化が図られ、目標を概ね達成することができた。

評価項目は、教育総務課 9 項目 学校教育課 12 項目 社会教育課 13 項目 図書館事務 4 項目 保健体育課 9 項目で、合計 47 項目である。

4 評価点数について

評価点数は 5 段階評価とし、以下のとおりとする。

| 評価 | 評価の基準等 | 目標等達成の目安 |
|----|---------------------------|----------|
| 5 | 目標を十分に達成し、期待以上の成果が得られた。 | 8割～10割 |
| 4 | 目標を概ね達成し、ほぼ期待どおりの成果が得られた。 | 6割～8割 |
| 3 | 目標を半分以上達成し、ある程度の成果が得られた。 | 4割～6割 |
| 2 | 目標をあまり達成できず、成果が少なかった。 | 2割～4割 |
| 1 | 目標をほとんど達成できず、成果がなかった。 | 0割～2割 |

5 平成 26 年度(平成 25 年度分)点検・評価の経過等について

- ・ 5 月 16 日 教育委員会内部自己点検・評価シート作成を各課に依頼
- ・ 5 月 30 日 事務局自己点検・評価シートの作成
- ・ 6 月 5 日 事務局自己点検・評価シートのまとめ
- ・ 6 月 10 日 各教育委員へ事務局点検・評価シートの配布
- ・ 6 月 26 日 各教育委員から事務局へ点検・評価シートの提出
- ・ 7 月 7 日 事務局点検・評価シートのまとめ
- ・ 7 月 15 日 第 1 回外部評価委員会
(委嘱状の交付、会長選出、外部評価委員へ自己点検・評価の依頼)
- ・ 8 月 20 日 第 2 回外部評価委員会
(外部評価委員の点検・評価の報告)
- ・ 8 月 31 日 自己点検・評価報告書の作成
- ・ 9 月 8 日 定例教育委員会に点検・評価結果報告書の議案提出
- ・ 10 月 市議会第 3 回定例会へ点検・評価結果報告書の提出
- ・ 10 月以降 市民への公表(市ホームページに掲載)

II 教育委員会事務局の点検・評価について

1 教育総務課

(教育委員会の活性化の推進 5 評価項目)

定例教育委員会等では、毎回全委員が出席し、議案審議においては、活発な議案質疑・討議がなされた。

また、県・地区の研修会や学校訪問を始めとした、市主催各種行事に積極的に参加し、定例教育委員会で、その結果の発表がなされた。市主催の研修会では、熊本県菊池市と大分県別府市とを研修したことにより、一層の委員会活性化が図られたと評価できる。

事務局との連携では、事務局からの事前資料配布も徹底され、その時々においてスムーズな連携が図られた。

外部評価委員の評価点は平均 4.8 点

(事業に係る 4 評価項目)

松原なぎさ小学校の建設では、校舎と体育館の建設が始まり、事故もなく、平成 27 年度開校に向け、順調に工事が進んでいる。

また、安全・安心な学校づくりの観点からの教育施設整備の充実においては、限りある予算内で、効率的に維持・補修がなされてきた。なかでも、緊急を要する修繕等については、速やかな対応がなされた。

外部評価委員の評価点は平均 4.6 点

□ 各事業の主な成果と課題

- (1) 職員研修は 27 名が受講、各種健康診断は 122 名が受診した。
- (2) 定期的に共同事務ブロック研修会を開催し、実務研修を行うなど財務事務の円滑な執行に努めた。
- (3) 施設・設備整備は、始良小の外壁補修、西浦小体育館の軒樋修繕、重富中の防球フェンス設置、帖佐中の太陽光発電の修繕、加治木幼稚園のトイレ水洗化等を行った。その他、緊急性のある各施設設備改修等を行い、適正な維持管理に努めた。
- (4) 松原なぎさ小学校建設については、校舎を 4 工区に分割発注し 8 月に着工した。また、体育館の屋根組や校舎において、地域木材を使用することにより、国のエコスクール・パイロットモデル事業の認定を受けた。今後は、プール建設や外構工事等を発注し、平成 27 年 4 月の開校に向けて事業を着実に進めていく必要がある。

2 学校教育課

『規範意識を養い豊かな心と健やかな体を育む教育の推進』『能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進』『児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくりの推進』の三つを重点施策に掲げ、その充実に努めた。

2年目の事業としての「モラリティ・インプルーブメント推進事業」では、2校で実践報告を行い、大きな成果をあげることができた。

また、スクールソーシャルワーカーと家庭・関係機関との連携が密にとられ、不登校児童生徒に対しての細かな対応が充実している。また、いじめ問題への対応については、各小中学校で「いじめ問題対策基本方針」を策定しいじめアンケート等を計画的に実施しながら把握できた全ての件について解消し、その後も状況を見届けている。

学校、家庭、地域、事業所、行政のそれぞれが果たすべき役割と責任、協働の取り組み等についてまとめた「始良市子育て基本条例」を基に、その実践化に向けた働きかけを考えていく必要がある。

外部評価委員の12項目評価点は平均4.6点

□ 各事業の主な成果と課題

- (1) 「モラリティ・インプルーブメント推進事業」で、重富小学校が実践発表を行い、保護者や地域の方々が多く参加し、道徳教育について、学校・家庭・地域の三者協働による推進が図られた。
- (2) 各学校において生徒指導体制が確立した。また、スクールカウンセラーを全ての中学校に配置することができ、特別に配慮を要する生徒への適切なカウンセリングが実施できた。
- (3) 特別な支援の必要のある児童生徒のいる小・中学校に特別支援教育支援員28名を配置し、適切な介助や学習支援等を行うことができた。また、市特別支援連絡協議会により、各関係機関と連携を図り、特別支援教育の充実が図れた。
- (4) 校長研修会8回、教頭研修会12回の管理職研修会を実施し、学校の課題解決への取組や学校経営の充実に生かすことができた。
- (5) 「教職員の指導力を向上させることで学力向上を図る」という基本的な考えに基づき多様な研修会を実施できた。今後は、管理職研修会の内容を、より関連づけたものとしていきたい。

3 社会教育課

「あいら未来特使団」「ふるさと学寮」などの事業が定着し、ジュニア・リーダークラブへの加入が増えるなど、青少年のリーダー育成が進むと同時に、既存の事業の充実も図られ、社会教育の基盤づくりが進んだ。

また、子育て基本条例の施行に伴う家庭教育及び学校教育の支援策として、「子育て手帳」を作成し、家庭教育サポーターの配置とスクール・サポート・ボランティア・コーディネーター（SSVC）事業を手掛けた。今後の有効活用に期待するところである。

さらに、社会教育施設や公民館施設においても運営充実が図られるなど、良好かつ幅広く生涯学習を推進できたものと評価できる。

同じく、芸術文化活動の振興や文化財の保存と活用にあっても、初期の目的に基づく事業を推進できたものと評価できる。

外部評価委員の13項目評価点は平均4.4点

□ 各事業の主な成果と課題

- (1) 社会教育関係職員のスキルアップや地域指導者の資質向上のため、各種研修会を開催すると同時に参加を進め、社会教育関係団体の育成が図られた。さらに、各種団体への育成・支援を行っているが、一方で、市民に対する情報提供システムの構築が課題となっている。
- (2) 「あいら未来特使団」「ふるさと学寮」「ふるさとチャレンジャー」等青少年健全育成事業が充実し、成果が上がった。また、高齢者のためのゆずり葉学級や女性のためのあやめ学級なども充実しており、それぞれに十分な成果を上げることができた。
- (3) 社会教育施設（椋鳩十文学記念館、北山野外研修センター、スターランドAIRA、蒲生ふるさと交流館、龍門陶芸・健康の里）や公民館施設（始良公民館、蒲生公民館、地区・校区公民館）では、施設・設備の維持保全に努めながら、充実した施設の運営が図られた。特に、スターランドAIRAにおける移動観望会は、好評を得ており、実施数が増えている。また、始良公民館は大規模改修工事がなされ、利便性の向上が図られた。
- (4) 児童・生徒に対する芸術鑑賞機会の提供、文化協会や市立少年少女合唱団の育成、始良10号美術展の開催など、芸術文化活動の振興・充実を図ることができた。今後、国民文化祭の開催に向けた準備が急務である。
- (5) 指定文化財については、新たに3件を指定し、各研修会等での活用に努め、埋蔵文化財については、開発に伴う照会及び発掘調査の実施と情報提供に向けた資料整理に従事した。また、歴史民俗資料館や加治木郷土館では、特別展や体験学習会などの開催により、来館者増となるなど、施設の健全な運営に努めた。

4 図書館

図書館サービス業務の充実では、新しく携帯電話からの貸出しを可能にして利用者の利便性の向上を図るとともに、迅速化・効率化に努めた。読書活動の推進では、子ども読書日に合わせた新たな事業を行い、小中学生が読書に関心をよせる機会を提供した。

また、視聴覚ライブラリーの充実では、県視聴覚ライブラリーの資料を定期的に借用するなどして各種団体に資料を貸し出し、視聴覚教育の充実に努めた。図書館システムの有効活用では、鹿児島県公共図書館横断検索を活用し、県立図書館や他市町村図書館と相互貸借によるサービスの充実に努めた。

外部評価委員の4項目評価点は平均4.5点

□ 各事業の主な成果と課題

- (1) 図書の貸出状況としては、一般書及び児童書などで37万2千冊余り、子ども読書活動としてお話し会61回、ブックスタート事業36回など図書資料の利用や読書活動の推進に努めた。
- (2) 視聴覚ライブラリーの利用実績は、機材及びビデオで利用者が9,700人余りであり、視聴覚教育の推進に努めた。今後も各種団体に対して広報の充実に努めたい。

5 保健体育課

生涯スポーツの推進については、市民の健康意識や仲間づくりを目的に各種のスポーツ大会等を実施した。学校体育保健関係では、児童生徒の健康診断事業や、学校安全体制の充実・児童生徒の体力向上に努めた。また、学校給食関係では、安心・安全な給食運営が図られ、それぞれ、概ね順調に推進することができた。

外部評価委員の9項目評価点は平均4.4点

□ 各事業の主な成果と課題

- (1) 各種スポーツ大会等は、多くの参加者を得て盛大に開催することができた。参加者数は約4,600名余りであった。更に多くの市民が参加できるような大会の計画やその広報の充実に努め、生涯スポーツの裾野をさらに広げていきたい。
- (2) すべての小・中学校で体力・運動能力調査を実施し、過去3年間で最もよい結果であった。水泳記録会において、新記録7個、陸上記録会では、新記録8個が誕生した。また、「チャレンジかごしま」において、2年連続北山小学校が、学校賞を受賞した。地域安全ボランティアやスクールガー

- ドリーダ等と十分な連携を図り学校安全体制の一層の充実が図られた。
- (3) 学校給食については、食中毒防止や異物混入等がないよう調理従事員・納入業者等を対象に給食衛生管理研修会の実施や栄養教諭等による食に関する指導等を行い、安心・安全な学校給食に努めた。さらに給食調理員スキルアップ研修会を初めて実施し、調理員の資質向上を図った。また、心を育む食育講演会を新規に開催し、家庭における食育の推進が図られた。建昌小学校・松原なぎさ小学校・建昌幼稚園・帖佐幼稚園に平成 27 年 4 月から給食を提供する、小学校給食室別棟建設事業に着手した。今後の始良市の学校給食の在り方を検討する「学校給食在り方検討委員会」を開催し、年度末に報告書の提出があり、26 年度整備計画を立てることとしている。

III 教育委員の平成 25 年度点検評価・意見・要望等について

(教育委員会の活性化の推進)

- ・事前に十分な日程調整がなされている。今後も責任をもって出席したい。
- ・質問や意見が多く出され、議案に対して十分審議している。
- ・質疑に適切な返答が行われている。
- ・議案は、委員へ余裕を持って届けられたとともに、必要なときには文書や電話での連絡も滞りなく行われている。
- ・始良市主催の県外研修は、事前に十分な資料の入手、計画立案がなされ、大きな成果があった。
- ・地区、県内、県外の研修に参加。委員としての自覚や見識を深めることができ、これからの問題解決への参考となった。
- ・始良市では、毎年すべての公立幼、小、中学校の学校訪問が実施されており、学校との連携が深まっている。
- ・学校訪問では、積極的な意見交換や質問が出された。

(教育総務課関係)

- ・心身の健康あつての業務、その上での資質向上に努めてほしい。
- ・適切な予算執行がなされている。
- ・松原なぎさ小の工事は計画どおりに進められており、無事故で完成することを期待している。
- ・子ども達が安心、安全な学校生活が送れるよう細かい配慮をお願いしたい。
- ・学校施設は、年次的に改修や補強工事が行われている。今後も、計画をしっかりと立てて、改修していく必要がある。
- ・学校からの要望に対し、迅速に対応がなされている。

(学校教育課関係)

- ・諸事業は滞りなく推進されている。各学校や地域での成果が上るものと期待している。
- ・地域を巻き込んだ取り組みが成果を上げている。授業研究においても活発な意見交換がなされた。
- ・各学校において全校的な指導体制が確立してきている。これからも家庭との連携を深めながら、児童、生徒への心配りをお願いしたい。
- ・家庭との連携は細やかな心配りが必要だと思う。
- ・幼・保・小連携、小中連携は、今後も続けて情報確認をお願いしたい。
- ・子供の問題行動の低年齢化で、幼児教育の重要性がとりあげられてきている。幼児そのものより、その親教育が最も力を入れるところだと思う。
- ・学力向上方策の効果が上がりつつある。更に充実させたい。
- ・小・中学校の先生方が一同に参加しての研修会は相互に学ぶ良い取り組みと思う。
- ・「勉強嫌いな子供」をつくらないようにお願いしたい。
- ・「おちこぼれ」ではなく「おちこぼし」の意識で子供達の「つまづき」を見逃さないよう指導力向上に努めてほしい。
- ・外国語学習における小・中の接続がスムーズになるよう研修を充実していただきたい。
- ・特別支援教育支援員の設置については、これからも最大限の配慮をお願いしたい。
- ・職場体験学習では、職業観、勤労観、主体性を育んだり、有意義な体験活動となるよう、事業所との事前研修会が大切と思う。
- ・本市には多くの史跡、文化遺産、産業などが点在する。郷土の良さに気づき、誇りに思えるような活動を、積極的に取り組んでほしい。
- ・運動会、体育祭等で郷土芸能を取り入れている学校もあり、すばらしい。
- ・「ふるさと」を愛し「ふるさと」を語れる人作りが大切である。
- ・どの学校でもランドデザインが綿密に作成され、学校経営の柱がはっきりと示されており、充実した経営がなされている。
- ・学校評議員や評価委員の感想・意見などをふまえ魅力ある学校づくりに努めてほしい。
- ・管理職の方には魅力ある学校をめざし、信念・情熱をもって学校経営に邁進してほしい。
- ・複式学級では、児童が学び方を学んだ上で、学習に取り組む姿を見ることができた。
- ・特認校の良さを生かした、広報活動を推進していく必要がある。

(社会教育課関係)

- ・子育て条例を、社会教育関係団体にも浸透させる必要がある。
- ・広範囲に及ぶ各種団体への支援育成は地域力の要である。各種団体とのより一層の連携強化と推進体制の充実が必要である。
- ・青少年の諸事業の情報を広報誌に紹介することは、始良市の活性化につながってくると思う。
- ・子供会への加入率が低い。有効な対策が必要と考える。
- ・子育て手帳を作成・配布したことは、大きな成果である。
- ・家庭教育学級は、異学年保護者の交流の場でもある。魅力ある活動内容で参加者の増員を図ってほしい。
- ・子育て手帳の活用を期待する。成長の記録としていろいろな機会でもとりあげてほしい。
- ・青少年劇場は、児童生徒が本物の芸術に触れることができるいい機会となっている。
- ・市文化芸術祭への観客動員に力を入れる必要がある。
- ・各施設の利用活用促進のための趣向を凝らした活動や、広報など運営努力がなされている。今後も入場者、利用者増に工夫してほしい。
- ・始良公民館のリニューアルオープンで今後の運営、促進に期待したい。
- ・公民館利用者数の推移に加えて、年令の現状も把握し、利用増に策を講じなければならないと思う。
- ・加治木古老物語、偶陽記、龍門司焼関係文書、新納仲左衛門日記について解説、刊行され郷土史研究の向上が図られた。
- ・郷土芸能が絶えることのないよう、伝承育成に力を注いでほしい。
- ・昨年の市文化芸術祭への出演など、市民が知り、味わえる機会も増やしてほしい。
- ・後継者育成に力を入れてほしい。
- ・いろいろな企画展を実施し、市民に、始良の歴史に対する興味・関心を少しでも高めるよう努力してほしい。
- ・児童・生徒が興味をもち、楽しめる企画をお願いしたい。

(図書館関係)

- ・始良市報の広報活動の内容が充実し魅力ある図書館として利用者への増加につながってきている。
- ・携帯電話で貸出し可能と身近に気軽に利用でき、更に利用増が図れることと思う。
- ・新しい事業を企画し、話題にもなった。今後とも、新企画を考えてほしい。

- ・読書活動を支えて下さる、装丁ボランティア、読み聞かせグループの方々の年間を通しての活動に感謝します。
- ・「ものがたりレシピをいただきます」新規事業は子供達の心をつかんだのではないかと思います。
- ・利用者側に立った目線での取り組みが楽しみです。
- ・視聴覚ライブラリーの利用が減少してきている。広報等での工夫が必要。
- ・地域の生涯学習の拠点として利用者のニーズに応えたサービスが提供されている。

(保健体育課関係)

- ・各種大会が実施され、市民の健康増進や親睦が深められているが参加者を増やす為の広報の工夫も必要である。
- ・研究大会への積極的参加により、推進委員の資質向上が図られている。
- ・スポーツ少年団指導者育成に支援が必要と感じる。
- ・小・中学生の体力が少しずつ向上していることは喜ばしい。しかし、体力の二極化という言葉があるが、運動に親しませる工夫をお願いしたい。
- ・オリンピック、国体が数年後には開かれる。始良からも出場選手が生まれるよう指導者の育成、児童生徒の育成に力を注いでほしい。
- ・家庭での取り組みも効果はあると思う。
- ・児童・生徒の通学路における安全については、スクールガードリーダーを中心とした地域の方々の協力が大きい。
- ・学校給食は、子供たちに安全で、かつ、栄養バランスを考慮されたものを提供することが第一である。各給食センターや調理場では、最大限の努力をしていることと思う。
- ・食物アレルギー対応に関しては、全職員の取り組みが必要である。
- ・栄養教諭による、バランスのとれた献立が作成されている。
- ・とても美味しい給食が提供されている。
- ・「アレルギー対応の手引き」は熟知(熟読)して、先生方には当ってほしい。常に危機意識をもって。
- ・生産者と交流する場を設けることで、生産者の努力や気持がわかり、感謝していただくこと、残食をなくすことなど学ぶと思う。又、食に困窮する国や、子どもたちのいることを知る機会も設けてほしい。
- ・子ども達の健やかな成長のために食育講演会を開催し、食育の大切さを図られたことは、これから保護者の意識改革につながると思う。今後も続けてほしい。
- ・調理員スキルアップ研修を始めたことは、評価できる。

- ・衛生管理や危機意識の高揚に努めてほしい。
- ・給食運営委員会による給食運営の適正化や栄養教諭等の協議会の充実を図り、栄養バランスの取れた献立や地場産物の活用、食育の充実などに取り組んでいる。
- ・学校給食在り方検討委員会にて、非常に細部に渡り(ソフト面・ハード面)検討され、まとめられている。

IV 外部評価委員の平成 25 年度点検評価・意見・要望等について

(教育委員会の活性化の推進)

- ・定期的に委員会が開催され必要な議案が審議されて大変望ましい。
- ・全委員出席のもと、必要な回数が開催されたと評価する。
- ・議案を事前に配布されているので、あらかじめ質問事項の準備をして定例会に出席できると思います。
- ・条例の改正等、適切に質疑がなされて、すべて承認されたことは評価できる。
- ・審議件数の妥当性と委員の意見交換も活発になされている。
- ・事前に資料配布できることは、審議の深まりの基本であり評価できる。
- ・研修会等にはできるだけ参加し委員としての自覚、見識を深めてもらいたい。
- ・学校訪問や各行事への参加により、それぞれの学校が持つ特色や雰囲気を感じることができると思う。時間の許す限り、訪問を実施していただきたい。学校との連携が何より大事だと感じる。

(教育総務課関係)

- ・職員の資質向上も、研修の機会や健康が保証されていることであるので今後も拡充してもらいたい。
- ・学校の備品監査も計画的にする必要があるのではないかと。
- ・監査結果の指摘事項がないのは当然のこと、今後も適正な財務事務の推進を図ってもらいたい。
- ・新設小学校に寄せる市民の期待は大変大きい。学校設備の完成だけではなく、登下校の安全性なども含めて、周辺環境整備もお願いしたい。
- ・必要な新設校が計画どおり開設へ向けて準備が進んでいることは評価できる。
- ・児童生徒は大人の考えないようなことで怪我をしたりするので改修工事等、安心安全のため、今以上のペースでお願いしたい。
- ・各学校の危険箇所、施設等には早急な対応がなされていると評価する。

(学校教育課関係)

- ・モラリティ・インブルメント実践推進校での実践発表を元に、得られた成果や反省点、課題などを、市内全ての学校に反映してもらいたい。
- ・上記事業は、地域の大人を取り込むことは、学校と地域の双方に良いことと感じる。
- ・上記事業は、事業効果がなかなか見えにくいのではないかと。
- ・不適応状態にある児童生徒ばかりでなく、その保護者との連携を深めるためカウンセラーの増員や相談時間の延長をさらに拡大していただきたい。
- ・カウンセラー等現場で対応する人達が安心して事案に取り組めるよう、トラブルが生じた場合のバックアップが重要と思う。
- ・豊かな文化活動に裏打ちされた人間性は人権感覚と共通すると考えられるので、より一層の振興を期待する。
- ・集団宿泊学習は社会体験、生活体験を通じてすばらしい体験だと思う今後も続けてほしい。
- ・幼稚園や幼児教育には今後も研修会等をもって充実を図ってもらいたい。
- ・公立・私立の関係なく、共通する課題も多いと思うので、公私合同の研修を推進すべきではないか。
- ・「基礎・基本の学力」が向上してきたことは喜ばしい。
- ・「確かな学力」を定着させる場所は、塾ではなく、学校である！という意識とプライドを常に持っていただきたい。
- ・「思考・表現」も県平均を上回れるような授業改善の取り組みをすすめていただきたい。
- ・理数定着支援員の配置による成果が、結果として出てきていることは、大変評価できる。
- ・外国語教育の充実を進めると同時に、母国語である日本語にも重点を置いていただきたい。読解力が全ての教科の理解力につながっていると思う。
- ・今後、外国語が必要とされる社会になっている。より一層の指導、推進に努めてほしい。
- ・特別支援員の配置は勿論だが、質の向上に更に力を入れて欲しい。
- ・特別支援教育支援員の配置により、効果的な学習支援がなされ、大変良かったと思う
- ・支援員相互間での研修や、意見交換等により更なる資質向上を期待している。
- ・特別支援教育は、その対象となる児童・生徒にとって必要であるだけでなく、対象とならない児童生徒や保護者が、障害児への理解や思いやりを深めるためにも重要と思われる。継続して充実して欲しい。
- ・職場体験のレポートを、それぞれのクラスで発表し合い、他の職場についても、認識を広げてもらえたらいいと思う。

- ・職場体験に行く前に、事業所の仕事内容など事前調査をやった上で、学習に臨んでもらいたい。
- ・事業所の協力もあり、キャリア教育も充実してきているが、職場体験学習が一過性の体験に終わらないよう事前、事後の学習も深化させてもらいたい。
- ・2～3時間かけた史跡めぐりなどを授業に取り入れるなどで地元の文化遺産などへの関心を高める事業も必要と思う。

(社会教育課関係)

- ・社会教育に関わる団体の役割や存在を、もっと広く市民に知ってもらえるよう、広報も必要である。
- ・生涯学習の情報を、より興味深いものとして市民に浸透されるよう、広報紙の活用を期待している。
- ・各種団体との連携、各種団体への支援は継続して推進して欲しい。
- ・「あいら未来特使団事業」として、初めて外国に短期留学をする機会を作ってください、本当に嬉しく思う。体験発表も素晴らしいものであった。
- ・少子化による単位子供会の活動がしにくいという声がある。合併して、活動しやすくする必要があると思う。
- ・子育て手帳は、学級PTA等に持参して、皆で読み合う機会を設けたどうか。
- ・子育て手帳については、保護者の活用状況等について、評価をするためにも実態調査が必要と思う。
- ・児童生徒の文化活動や各種芸術への関心の喚起は、情感豊かな人間性の育成にとっても重要と思う。より一層力を入れて欲しい。
- ・市には立派な研修センター記念館、交流館等が設置されている。市民の一層の利用を期待したい。
- ・公民館講座は年々充実してきていると思う。
- ・家庭教育・成人教育やら生涯学習の推進などと公民館講座等については、整理統合できないか。
- ・各事業ごとに、推進大会とか、研究大会が開催されるが、統合するなり、各年度1大会にするなどできないか。
- ・始良公民館の大規模改修が終って良かった。今後も安全で使い易い施設の維持に務めてほしい。
- ・始良公民館、蒲生公民館、加治木各校区公民館の外に各自治公民館と、公民館もいろいろあるが、将来的に十分な活用がなされていくのか。特に若い世代がどうなのか気にかかる。
- ・文化財巡りの巡路図などを地域住民がもっと手に入れやすくしてはどうか。
- ・埋蔵文化財の保護や調査には、気の遠くなるような忍耐の要る作業があると

想像します。歴史を知る手がかりですので、ご尽力くださいますようお願い致します。

- ・埋蔵文化財の調査の成果を分かり易く、広く市民に伝えていただきたい。
- ・郷土芸能を維持存続させるためにも、後継者不足に悩む地区などへの聞き取り調査や支援をお願いしたい。
- ・多くの市民が、郷土の歴史に対して興味・関心を持つような取り組みがなされることを期待している。
- ・郷土館特別展は正にタイムリーな企画展だった。郷土館の存在や、貴重な古い建物などを、市民が知る良いきっかけにもなったと思う。
- ・施設は、必ずしも大きくないが、収蔵品は多いと思う。もっと整理がされれば、さらに見学しやすくなるのでは。

(図書館関係)

- ・携帯電話の機能を利用した貸出サービスの開始は、時代の流れを良く汲み入れており、若い世代の図書館利用増にも効果が出るのではと思う。
- ・新しいサービスも取り入れ、更に充実するものと期待される。市報の記事も読み易くて良い。
- ・「ものがたりレシピをいただきます」のアイデアはすばらしい。
- ・読み聞かせボランティア等の活用・育成に一層力を入れていただきたい。
- ・学校での読書活動は、児童・生徒・保護者がそれぞれ力を入れており、各小中校の活動をいかした連携が重要と思う。
- ・視聴覚ライブラリーのニーズが、年々減少しているのだと思う。その中であって、利用促進に様々な努力をしていることは、大変評価できる。
- ・利用者が限られた人にならないよう広報を充実させていただきたい。
- ・パソコンやインターネットの普及により、視聴覚教材の利用にも変化が生じているのではないか。需要に見合った事業の推進が必要と思う。
- ・図書館がこれまでの静寂だけでなく、だれもが気軽に出かけられる明るい場所という印象を受けている。
- ・インターネットによる予約ができるようになり、借りる側にとっても大変便利になった。
- ・おさいふケータイ機能については、今後更に広報して若い世代に知ってもらいたいと思う。
- ・貸出し返却がスムーズになり機能が充実している。
- ・技術の進歩に沿ったシステムの活用は、評価できる。

(保健体育課関係)

- ・市全体が参加できるような地区対抗大会と参加者を増やす工夫を更に望みたい。
- ・種目別の大会は、それぞれ必要と思うが内容や開催日など整理統合が可能なものはないのか。(各地域や団体の開催するスポーツ大会も考慮して。)
- ・スポーツ推進委員の資質向上に向けた研修が開催され、更なるスキルアップが成されたと思う。
- ・公民館活動とスポーツ推進の連携はできないか。
- ・各地区にスポーツ推進委員が配置されているので、軽スポーツやニュースポーツ、生涯スポーツの普及に活用してもらいたい。
- ・大学の合宿を更に誘致していただきたい。
- ・近年スポーツ少年団の過度な練習と対外試合が多く、保護者の負担になり団員数の減少の原因になっている。
- ・体育授業時の準備運動・整理運動がしっかり実施できるように指導されたい。
- ・今後も、小中学校の体力向上、運動能力向上の為に指導していただきたい。
- ・学校内や登下校時に、重大事故が起きていないことは素晴らしい成果である。
- ・各地域で多くのボランティア活動がなされており、ありがたいと思っている。
- ・保護者自身ももっと積極的に、見守り活動に参加できればいいのだが。
- ・安心して安全な学校給食が提供されている。
- ・安心安全な運営がなされており、食中毒0件は当然。今後も素晴らしい運営がなされるように願いたい。
- ・社会全体が貧しかった時代よりも、豊かになった現代の方が、給食の重要性が増していると思う。
- ・バランスのとれたおいしい給食の提供に努めて欲しい。
- ・給食は、一日に必要な栄養バランスの一翼を担っていると思う。今後も子供たちの為に最善を尽されたい。
- ・栄養教諭・調理従業者の方々が、他校の給食試食の機会があってもよいかなと思う。
- ・地場産の食材を使うことで、地域とのつながりが深くなると思う。生産者との交流を通じて、食物を粗末にしない心が自然と身に付いてくると思う。
- ・食と健康や命の関係について、更に理解できるよう推進していただきたい。
- ・保護者の食育に対する意識や関心がどうなのか気になる。
- ・衛生管理の研修会や、調理員のスキルアップ研修など、資質の向上を図ったことが大変評価できる。
- ・「あり方検討委員会」の報告書によると、基準に不適合の施設もあるようだ。安全安心な給食のため改善を急いでほしい。
- ・施設面においても、安心、安全な給食の提供に努めて欲しい。

V 始良市教育委員会事務事業評価シート

(平成25年度事業)

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|---------------|--------------|-----------------------|--------------------------|-------------------|---|-----|--|
| 教育 総務 課 | 教育委員会の活性化の推進 | 定例会教育委員会・臨時教育委員会の開催状況 | 開催回数等 | 定例会・臨時会の適切な時期での開催 | ①定例会12回、臨時会2回、始良市教育委員会の行政組織等に関する規則で定められた毎月10日前後の開催に努めた。 ②臨時会では、教育委員長選任、職務代理者指定、教職員の内示を行った。 | 5.0 | <ul style="list-style-type: none"> 定例会・臨時会とも適切な時期に開催され、委員も全員出席している。 事前に十分な日程調整がなされている。今後も責任をもって出席したい。 ほぼ予定通りに開催された。 事前に日程の調整がなされており、適切に開催できている。 定期的に委員会が開催され必要な議案が審議されて大変望ましい。 全委員出席のもと、必要な回数が開催されたと評価する。 |
| | | 議案の審議状況 | 審議件数の妥当性と委員の意見反映 | 委員の意見反映度 | ①予算議案3件、条例・規則等制定・改正22件、付属機関の委員等の委嘱2件、その他8件、計35件の議案及び報告9件のすべてが議決・承認された。 ②ほとんどの案件に質疑等が出されると共に活発な意見交換が行われた。 | 4.6 | <ul style="list-style-type: none"> 質問や意見が多く出され、議案に対して十分審議している。 早めの資料配付により、事前検討ができ、質問や意見交換ができた。 質疑に適切な返答が行われている。 議案を事前に配布されているので、予め質問事項の準備をして定例会に出席できると思います。 条例の改正等、適切に質疑がなされて、すべて承認されたことは評価できる。 審議件数の妥当性と委員の意見交換も活発になされている。 全委員出席のもと、活発な質疑がなされたことは評価できる。 |
| | | 事務局との連携 | 委員への委員会事前資料配付と事務局への資料要求等 | 教育委員と事務局の連携 | 定例会・臨時会当日3日前に各教育委員に、議案及び教育委員・事務局の行事の資料配布に努めた。 また、説明に必要な資料の配布も行った。 | 5.0 | <ul style="list-style-type: none"> 議案は、委員へ余裕を持って届けられたとともに、必要なときには文書や電話での連絡も滞りなく行われている。 事前の資料配付が確実にこなされている。 十分に事前検討ができた。 資料は日程に余裕を持って委員に届けられており、これによって、十分な事前検討が可能になり、活発な意見交換にも繋がると思います。連携は大変良く出来ていると感じる。 事前に資料配布できることは、審議の深まりの基本であり評価できる。 確実な事前配布及び十分な事前検討は評価できる。 |
| | | 教育委員の研修 | 研修の機会 | 県・地区・市独自の研修内容 | ①県主催の研修 市町教育委員会研究協議会他1の研修会や総会 ②地区の研修 地区市町教育委員会連絡協議会研修会 ③始良市主催の研修会 県外研修(菊池市・別府市:1泊2日) | 4.6 | <ul style="list-style-type: none"> 始良市主催の県外研修は、事前に十分な資料の入手、計画立案がなされ、大きな成果があった。 地区、県内、県外の研修に参加。委員としての自覚や見識を深めることができ、これからの問題解決への参考となった。 貴重な機会、研修地についても積極的に希望を出せるくらい情報をもたねばと思う。 県内外への研修機会を得ることで、余所の優れている点を始良市に導入するきっかけになると思う。又一方では、始良市の良さを再確認するような場面があったのではないかと想像する。 研修会等には出来るだけ参加し委員としての自覚、見識を深めてもらいたい。 |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|-------------------|--------------|--------------------------|------------------------------|--|--|---|--|
| 教育 総 務 課 | 教育委員会の活性化の推進 | 教育委員の活動状況 | 教育委員会主催行事への参加 | 学校、教委主催行事、その他行事の参加状況 | 市独自の学校訪問や教育事務所との合同訪問、水泳・陸上記録会、文化祭、成人式等の各種行事に積極的な参加がなされた。 学校訪問では、積極的な意見交換や質議がなされた。 | 4.8 | <ul style="list-style-type: none"> ・始良市では、毎年すべての公立幼、小、中学校の学校訪問が実施されており、学校との連携が深まっている。 ・学校訪問では、積極的な意見交換や質問が出された。 ・各種の行事へ参加し、定例会等で感想意見が出された。 ・合同訪問は委員長のみ出席であるが、それを残念に思える程、学校訪問は充実していると思う。 ・市・支部の文化祭をご見学下さった委員の方から、直に感想をお聞きし、今後の文化活動の励みとなった。 ・学校訪問や各行事への参加により、それぞれの学校が持つ特色や雰囲気を感じることが出来ると思う。時間の許す限り、訪問を実施していただきたい。学校との連携が何より大事だと感じる。 ・学校訪問等で、優れていると感じられたことを、市のホームページ等でもっと周知していただく励みになると思う。 ・各学校の行事等に積極的に参加し意見交換の場をより多くもってもらいたい。 |
| | 適正な人事管理業務の推進 | 職員の資質向上と健康管理の保持 | 職員研修・健康診断・健康講話 | 研修と健康診断等の実績内訳 | <ul style="list-style-type: none"> ①県自治研修センターの役職別研修 課長1名、一般職員1名、特別研修1名 ②市独自 ・男女共同参画研修:管理職3名、一般6名 ・人事評価制度及び人材育成講演会:9名 ・人権同和問題研修:1名 ・評価者面談研修(人材育成):5名 ③職場健康診断受診者:正規職員40名、臨時職員30名 ④人間ドック:市町村共済23名、学校共済8名 ⑤生活習慣病予防検診(社保適用者):21名 | 4.6 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上、健康管理には十分な対応がなされている。 ・心身の健康あつての業務、その上での資質向上に努めてほしい。 ・職員には、心身共に健康であつて欲しいと、切に願う。 ・職員の資質向上も、研修の機会や健康が保証されてのことであるので今後も拡充してもらいたい。 ・職員の資質向上と健康管理には十分な対応がなされている。 |
| | 適正な財務事務の推進 | 財務事務の効率的な運営・適正な予算の編成及び執行 | 学校会計事務の改善・年次計画の予算編成と効率的な予算執行 | 学校事務職員研修の実施状況、定期監査、決算監査、実施計画の策定 | <ul style="list-style-type: none"> ①学校事務共同実施連絡協議会やブロック事務職員研修会の中で、財務会計処理、備品システムについての実務研修を行った。 ②24年度決算監査、25年度定期監査結果は適正な予算執行が図られていることから指摘事項は無かった。 ③学校備品監査の実施は無かったが、教育部の備品監査が行われ、特に指摘事項はなかった。 ④第4次実施計画26年度から28年度まで3年間の策定がされた。 | 4.4 | <ul style="list-style-type: none"> ・適切な予算執行がなされている。 ・事務職員の研修が実施され、更なる財務事務の向上がなされた。 ・会計の透明性は、必須と感じる。 ・学校の備品監査も計画的にする必要があるのではないかと。 ・監査結果の指摘事項がないのは当然のこと、今後も適正な財務事務の推進を図ってもらいたい。 |
| 良好な教育環境整備の推進 | 分離新設小学校建設 | 松原なぎさ小学校建設進捗状況 | 新設小学校建設における工事等について | <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助の認定後に校舎と体育館の工事発注をして、請負契約の議会承認を経て工事の安全祈願祭を8月に行いました。校舎については工期短縮と、地元企業施工参加を図る目的から4工区に分割発注し、平成26年7月末の完成を目指して計画通り工事は順調に進捗しております。 ・木材利用型のエコスクールパイロット・モデル事業認定の基本計画書に基づき、2月には建昌小の児童を実際に市有林の樹木見学(木になる山の体験学習)を開催して、地域木材が学校建設に活用されることなど環境教育にも役立ちました。 ・今後は、屋外施設工事(プール・トイレ・グラウンド・体育施設・駐車場整備など)を発注して平成27年4月の開校を目指します。 | 4.8 | <ul style="list-style-type: none"> ・工事は計画どおりに進められており、無事故で完成することを期待している。 ・子ども達が安心、安全な学校生活が送れるよう細かい配慮をお願いしたい。 ・全てに渡り、多いに注視、期待している。 ・元気に登下校する児童の姿が眼に浮かぶ。本校への期待と同時に、安全・安心に通学等できる体制を切に望む。 ・新設小学校に寄せる市民の期待は大変大きい。学校設備の完成だけではなく、登下校の安全性なども含めて、周辺環境整備もお願いしたい。 ・すばらしい小学校ができつつある。他の学校への目配りも今以上をお願いしたい。 ・必要な新設校が計画通り開設へ向けて準備が進んでいることは評価できる。 ・施設だけでなく、先生も児童も保護者もすばらしい学校になって欲しい。 | |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|-------|--------------|----------------------|--|--|--|-----|---|
| 教育総務課 | 良好な教育環境整備の推進 | 安全・安心な学校づくりと教育施設整備状況 | 各施設整備状況と耐震化の推進及び主な施設整備状況 | 主な教育施設整備の工事及び修繕料等の実績 | <p>・小学校は、始良小学校1号棟校舎の東西面の外壁を改修したことにより、モルタル落下の危険防止が図られた。</p> <p>・西浦小学校の屋内運動場の軒樋は大雪により壊れていたが取替えにより雨水の落下を解消できた。</p> <p>・錦江小学校の屋内運動場の照明設備の増設を行い規定の照度を確保できた。</p> <p>・中学校は、重富中学校の防球フェンスが一部なくて危険であったため設置を行い、市道や民家への飛球の解消を図った。</p> <p>・また、帖佐中学校は、太陽光発電設備が落雷による故障と、ハトの被害による汚染もあり、発電出来なかったが、改修することで発電効率が高まりました。</p> <p>・蒲生中学校の給食受入れ口は壁もなく不衛生であったため改修して衛生管理しやすくなった。</p> <p>・加治木幼稚園は簡易水洗トイレで老朽化していたが、合併浄化槽を設置して水洗化して幼児が利用しやすくなった。</p> <p>今後の課題としては、大半の校舎・体育館が古く危険回避の為の改修工事を実施していく必要がある。</p> | 4.8 | <p>・年次的に改修や補強工事が行われている。今後も、計画をしっかりと立てて、改修していく必要がある。</p> <p>・学校からの要望に対し、迅速に対応がなされている。</p> <p>・安全、安心な学校づくりとしての環境整備がなされてきている。</p> <p>・学校訪問等で見聞きするだけでも各学校、多くの整備(修繕)を望んでいることがわかる。</p> <p>・子供・教職員の安全第一で計画通りに取り組まれている。</p> <p>・今後とも、限られた予算の中、中長期的視点から順次効率良く予算化して下したい。</p> <p>・新設される学校がある反面、歴史のある学校には老朽化による問題が多々出てきている。またこの数年は自然災害も多く、学校現場では不安も多いことと想像する。</p> <p>・学校の要望に対して、速やかな対応が講じられており、安心した。</p> <p>・児童生徒は大人の考えないようなことで怪我をしたりするので改修工事等、安心安全のため今以上のペースでお願いしたい。</p> <p>・各学校の危険箇所、施設等には早急な対応がなされていると評価する。</p> <p>・子育て条例に恥じない施設整備に努めて欲しい。</p> |
| 学校教育課 | 良好な教育環境の整備 | 松原なぎさ小学校開校準備の推進 | <p>①開校準備担当者会等の設置</p> <p>②校名、校章、校歌詞等の選定</p> <p>③備品整備計画作成</p> <p>④教育課程編成準備</p> | <p>①開校準備担当者会等の設置状況</p> <p>②校名、校章、校歌詞等の選定状況</p> <p>③備品整備計画状況</p> <p>④教育課程編成準備状況</p> | <p>①開校準備担当者を12人委嘱し、関係各課及び建昌小学校と連携し、多角的に準備を進めてきた。</p> <p>②「始良市新設校校名選考委員会」を設置し、新設小学校校名として「松原なぎさ小学校」を選考した。また、「始良市新設校校章及び校旗選考委員会」で校章を選考した。校歌詞については、「始良市立松原なぎさ小学校校歌詞選考委員会」を設置し、第2次選考まで行った。</p> <p>③平成26年度予算編成において、備品整備計画に基づき予算化を図った。</p> <p>④教育課程編成に向け、建昌小学校及び県内数校の教育課程を取り寄せ、基本案作成に着手した。</p> | 4.8 | <p>・開校に向けて、計画どおりに進められている。</p> <p>・新設校にふさわしい小学校名「松原なぎさ小学校」と校章が選考された。開校に向けての準備が進んでいる。</p> <p>・首尾よくすすめられている。</p> <p>・松原なぎさ小学校の校歌が開ける日を楽しみにしている。</p> <p>・計画通りに開校準備が進行している。</p> <p>・素晴らしい学校名が決まり、校章も選考された。校歌の選考決定を楽しみにしている。</p> <p>・久々の新設校なので、円滑に新年度を迎えられるよう最後までサポートをお願いします。</p> <p>・良好な教育環境の場であることを願う。</p> <p>・計画通り作業が進んでいると評価する。</p> |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|-----------------------|----------------------------|---------------------|--|--|---|-----|--|
| 学 校 教 育 課 | 規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐむ教育の推進 | 豊かな情操・感性を育てる道徳教育の充実 | ①モラリティ・インブルーメント推進事業 ②道徳教育の研究協力校指定 ③保護者や地域と協働による道徳教育の実践 | ①モラリティ・インブルーメント推進事業の取組状況 ②道徳教育の研究協力校指定の取組状況 ③保護者や地域と協働による道徳教育の実践状況 | ①-1 モラリティ・インブルーメント実践推進校の重富小が実践発表を行い、学校・家庭・地域の三者協働による道徳教育の推進が図られた。 ①-2 心を育む基盤となる学級経営の充実を図るために「学級経営研修会」を開催するとともに、郷土を愛する心を育む読み物資料集や、道徳教育の充実のための実践事例集を作成した。 ①-3 始良の子どもたちの道徳性の向上を協議する会(モラリティ・インブルーメント・ミーティング)において、始良の子どもたちの道徳性を育むための第1次提言とリーフレットを作成した。 ②市研究協力校として西始良小、山田小が道徳教育の研究実践に取り組み、全校体制で研究を推進した。 ③モラリティ・インブルーメント推進事業において、保護者や地域の方の参加による授業や、パネルディスカッションなどが行われた。 | 4.4 | <ul style="list-style-type: none"> ・諸事業は滞りなく推進されている。各学校や地域での成果が上がるものと期待している。 ・地域を巻き込んだ取り組みが成果をあげている。授業研究においても活発な意見交換がなされた。 ・各学校の特色ある取り組みが継続して行なえる様努めてほしい。 ・実践活動に関わった皆さんが、その達成感を味わわれたように拝察する。学習経験が今後それぞれに糧となり、機会を作って周知されるように期待する。 ・実践推進校での実践発表を元に、得られた成果や反省点、課題などを、市内全ての学校に反映してもらいたい。 ・地域の大人を取り込むことは、学校と地域の双方に良いことと感じる。 ・交通マナーなど、大人が悪い見本となっている場面も多いので、啓発の機会を今以上増やす必要がある。 ・学校家庭地域が一体となって取組む必要があるのでは。 ・重要な事業であり、取り組みについては充分評価に値すると思う。 ・事業効果がなかなか見えにくいのではないかな。 ・大人へのマナー教育の必要性を感じる人が多い。 |
| | | 児童生徒の心に届く生徒指導の充実 | ①スクールカウンセラー配置事業 ②スクールソーシャルワーカー実践研究事業 ③スクーリングサポート事業(適応指導教室) ④スクランブルカウンセリング事業 | ①スクールカウンセラーの事業実績 ②スクールソーシャルワーカーの事業実績 ③スクーリングサポート事業実績 ④スクランブルカウンセリング事業実績 | ①小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒や、その保護者、教諭等の相談体制を充実させた。 ②スクールソーシャルワーカーを3人配置し、児童生徒の心の問題や生徒指導上の課題、さらには、家庭状況等の児童生徒を取り巻く環境改善に向け取り組んだ。 ③始良教室、加治木教室で不登校児童生徒への対応を行い、体験活動や児童生徒の実態に応じた指導を行い、学校復帰に向けた取組の充実を図った。 ④事件や事故など、児童生徒の心の安定を図る緊急を要するカウンセリングを実施することができた。 | 4.2 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒だけでなく、家庭・保護者とともに連携した取り組みが必要である。 ・各学校において全校的な指導体制が確立してきている。これからも家庭との連携を深めながら、児童、生徒への心配りをお願いしたい。 ・多方面からの支援、又、特に専門家の支援は今後も大きな力になっていくと思います。 ・家庭との連携は細やかな心配りが必要だと思います。 ・学校現場の教育が、教師を中心に専門家等の支援を頂き成されるようになり、大変喜ばしい。教育者にもゆとりのある環境を望む。 ・児童生徒をサポートする体制作りは十分に完備されていると感じる。ただ、家庭によっては、複雑な環境の下で養育されている児童生徒が増えてきている現実もあり、家庭との連携の必要性が大きいことも実感する。 ・不適応状態にある児童生徒ばかりでなく、その保護者との連携を深めるためカウンセラーの増員や相談時間の延長をさらに拡大していただきたい。 ・不登校、心の問題等に専門職を配置し十分な対応がなされているが早期に問題のある児童・生徒の減少に頑張ってもらいたい。 ・重要だが困難な事業だと思ふ。 ・カウンセラー等現場で対応する人達が安心して事案に取り組めるよう、トラブルが生じた場合のバックアップが重要と思う。 |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|-----------------------|----------------------------|--------------------|--|---|--|-----|--|
| 学 校 教 育 課 | 規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐむ教育の推進 | 人権教育及び体験活動や読書活動の充実 | <p>①人権教育全体計画、年間指導計画の改善・充実</p> <p>②知的理解を深め、人権感覚を高めるための研修推進と各種校外研修会等への参加補助</p> <p>③集団宿泊学習、総合的な学習の時間の補助</p> <p>④各種作品コンクールへの応募</p> <p>⑤小・中合同音楽会</p> <p>⑥図書整備事業</p> | <p>①各学校における全体計画、年間指導計画の作成状況</p> <p>②各学校における研修状況、校外研修参加補助状況</p> <p>③集団宿泊学習、総合的な学習の時間の補助状況</p> <p>④各種コンクールへの応募状況</p> <p>⑤小・中合同音楽会の開催状況</p> <p>⑥図書整備状況</p> | <p>①「学校における人権同和教育の推進に関する実態調査」を実施し、各学校の全体計画、年間指導計画の作成状況を把握した。全校で作成されているが、精査の必要な学校も見られた。</p> <p>②管理職研修会で人権教育の推進に係る資料をもとに指導を行った。また、幼稚園2園、小学校7校、中学校1校の園・校内研修に指導主事を派遣し指導を図った。人権教育に係る校外研修も参加補助を計画的に進めることができた。</p> <p>③隔年実施を除く小学校14校、中学校5校で集団宿泊学習が計画どおり実施された。また全ての小・中学校で総合的な学習の時間の充実が図られた。</p> <p>④市作文審査会、市図画作品審査会、市理科作品審査会を開催した。</p> <p>⑤市音楽部会と連携を図り、11月上旬に加音ホールで小・中合同音楽会を開催し、多くの参加が得られた。</p> <p>⑥図書整備計画にしたがって予算化を図り整備が行われた。</p> | 4.6 | <p>・市内の小中学校の児童、生徒が日頃練習してきた成果を発表する良い機会である。会場に来るまでのバスの中での態度、演奏を聴く態度、発表時の態度など社会性を身につける体験の場ともなっている。</p> <p>・子供達自身が自ら問題解決できる力をつけていけるような教育に大人は頑張らなければならないと思う。</p> <p>・今後も諸事業を通して、児童・生徒の意欲をかきたて、チャレンジ精神の高揚を図りたい。</p> <p>・体験学習、読書活動、そして芸術面での意欲的な参加に取り組んだ成果が出ている。教科書には載っていない、心を豊かにする学習は、生徒児童の健全な成長に大きく役立つことと思う。</p> <p>・「命の尊さ」を再度確認する(学ぶ)時なのだと思う。</p> <p>・豊かな文化活動に裏打ちされた人間性は人権感覚と共通すると考えられるので、より一層の振興を期待する。</p> <p>・集団宿泊学習は社会体験、生活体験を通じてすばらしい体験だと思う今後も続けてほしい。</p> <p>・各種の作品が展示されてすばらしい作品が多い。</p> <p>・重要かつ必要な事業であると思う。</p> <p>・児童が成長し、大人になったときにその成果が表われないと意味がないので、しっかりと実施して欲しい。(人権教育)</p> <p>・子供達は宿泊学習や加音ホールでの発表会をとても楽しみにしている。又、その学習・教育効果もあがっていると思う。</p> |
| | | 幼児教育の充実 | <p>①幼稚園研修会</p> <p>②幼・保・小連携研修会</p> <p>③幼稚園教諭等研修会</p> <p>④幼・小交流学習</p> | <p>①幼稚園長研修会の実施状況</p> <p>②幼・保・小連携研修会の実施状況</p> <p>③幼稚園教諭等研修会の実施状況</p> <p>④幼・小交流学習の状況</p> | <p>①小学校への円滑な接続を図るための教育課程の在り方や、3歳児保育の実施、預かり保育の試行状況等について協議を深めた(年6回開催)。</p> <p>②幼・保・小連携研修会は、年に2回実施し、公立の保育所・幼稚園・小学校並びに私立幼稚園等も参加し、始良市の幼児教育と小学校教育の連携を図ることができた。</p> <p>③帖佐幼稚園において幼稚園教諭等研修会を実施し、市内の幼稚園全教諭による保育参観、保育研究、講演会を通して研鑽を深めることができた。</p> <p>④各幼稚園においては、小学校教育を見据えた指導計画を作成し、各園における実践を通して、改善を図ることができた。</p> | 4.2 | <p>・連携研修会は内容を毎年工夫し、幼・保・小間の更なる連携が図られることを期待したい。</p> <p>・幼・保・小連携、小中連携は、今後も続けて情報確認をお願いしたい。</p> <p>・子供の問題行動の低年齢化で、幼児教育の重要性がとりあげられてきています。幼児そのものより、その親教育が最も力を入れるところだと思っている。</p> <p>・幼児期には、情操面に力を入れて育てて頂き、大いに感性を磨いてほしいと思う。</p> <p>・3歳児保育が実施され、保護者には大変有り難い環境になったと思う。その反面、幼稚園の現場では、スタッフ不足も悩みのようである。保育(教育)する職員が、安心して園児を見守ることのできる環境作りをお願いしたい。</p> <p>・保育所等とは研修会を組みにくいと思うが、資質向上のため機会が増えるよう支援していただきたい。</p> <p>・幼稚園や幼児教育には今後も研修会等をもって充実を図ってもらいたい。</p> <p>・公立・私立の関係なく、共通する課題も多いと思うので、公私合同の研修を推進すべきではないか。</p> |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|-----------------------|---------------------------|-------------|---|---|--|---|---|
| 学 校 教 育 課 | 能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進 | 「確かな学力」の定着、 | ①学力向上アクションプラン推進事業 ②教育実践発表会 ③教務主任等研修会 ④研究指定校補助事業 ⑤全国学力・学習状況調査 ⑥県鹿兒島学習定着度調査 ⑦標準学力検査 | ①-1 小中連携の取組状況 ①-2 理科指導法研修会の状況 ①-3 指導力向上セミナーの状況 ②教育実践発表会の取組状況 ③教務主任等研修会 ④研究指定校補助事業の実績 ⑤全国学力・学習状況調査結果と活用状況 ⑥鹿兒島学習定着度調査結果と活用状況 ⑦標準学力検査 | ①-1 各中学校をブロックとした小・中合同の研修会を年数回実施し、相互授業参観を踏まえた情報交換、中学校教諭による小学校での出前授業などが活発に行われ、小中の共通実践事項の推進を確実に図ることができた。 ①-2 5月に東京大学大学院の教授を招聘し「理科指導法研修会」を実施し、指導力向上を図った。 ①-3 「指導力向上セミナー」を7月に実施し、授業改善につながる実践的な研修を深めた(市内教員が延べ328人参加)。 ②小学校3校、中学校1校が、学校の特色ある取組を発表し、相互に学びを深めた。 ③教務主任等研修会を4月と11月に実施し、教育課程の管理と学力向上の取組について研修を深めた。 ④研究指定校として市6校、地区2校、県2校が研究計画に基づき、充実した研究が推進された(研究公開3校)。 ⑤「知識・理解」の問題は全国・県を上回り、「活用」の問題は県を上回り全国と同程度であった。 ⑥「基礎・基本」の問題はほとんどの教科で県を上回ったが、「思考・表現」の問題では、県をやや下回る教科が複数みられた。 ⑦各学校で標準学力検査結果の分析を基に、課題解決を図る共通実践事項を定め取組を進めている。 | 4.2 | <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上方策の効果が上がりつつある。更に充実させたい。 ・指導力を高めるために研修を重ね、児童、生徒に還元してほしい。 ・小・中学校の先生方が一同に参加しての研修会は相互に学ぶ良い取組みと思う。 ・「勉強嫌いな子供」をつくらないようにお願いしたい。 ・「おちこぼれ」ではなく「おちこぼし」の意識で子供達の「つまづき」を見逃さないよう指導力向上に努めてほしい。 ・「基礎・基本の学力」が向上してきたことは喜ばしい。 ・「応用的学力」の向上は今後に期待するが、心の柔軟な時期にこそ、素直な心・人の話を聞く耳を持てる子供に育てる手立がないものかと考えている。 ・「確かな学力」を定着させる場所は、塾ではなく、学校である！という意識とプライドを常に持っていただきたい。 ・「思考・表現」も県平均を上回れるような授業改善の取り組みをすすめていただきたい。 ・児童・生徒の学力向上の為に今後も努力してもらいたい。 ・児童・生徒の学力向上には、教師の質が大きく影響する。 ・教師が質の向上に取り組める環境づくりが必要ではないか。 |
| | | | | ①理数・外国語教育推進事業 ②理数定着支援員配置による取組状況 ③算数・数学指導法研修会の状況 ④科学の祭典 ⑤英語活動協力員(AEA)の配置 ⑥外国語活動指導法研修会 ⑦外国語教育推進事業研修会 ⑧外国語教育アドバイザー委嘱 | ①理数・外国語教育推進事業 <理数教育> ②理数定着支援員配置による取組状況 ③算数・数学指導法研修会の状況 ④科学の祭典 <外国語教育> ⑤英語活動協力員(AEA)の活動状況 ⑥外国語指導法研修会の状況 ⑦外国語教育推進事業研修会の状況 ⑧外国語教育アドバイザーとの連携状況 | ①理数・外国語教育推進事業として、理数分野、外国語分野それぞれ計画に沿った取組が展開された。 ②理数定着支援員を小学校3校に配置し、理数の学力定着を図る取組の成果を実施校校長連絡会で共有できた。 ③算数・数学研究会(建昌小)、理科指導法研修会(帖佐小)を実施し、活用力等の育成について研修を深めた。 ④市内理科教育担当者等を講師に「サイエンススキズコーナー」として10個の体験コーナーを開設し、幼児児童生徒、保護者の多数の参加があった。 ⑤市内の全ての小学校に英語活動協力員を派遣し、小学校外国語活動の指導の充実を図った。 ⑥宮崎大学から講師を招き、外国語教育について演習を交えながら実践的な研修が行われた。 ⑦⑧外国語教育推進事業の実践校(帖佐中・帖佐小)において、外国語教育アドバイザーの指導を受けながら研修を深めた。 | 4.4 |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|-----------------------|--------------------------|-------------------|---|--|---|-----|--|
| 学 校 教 育 課 | 能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐむ教育の推進 | 特別支援教育や情報教育の充実の推進 | ①特別支援教育研修会 ②特別支援教育支援員配置事業 ③特別支援教育支援員研修会 ④障害児就学指導委員会の実施状況 ⑤就学相談会 ⑥特別支援連携協議会 ⑦ICT機器を活用した授業の推進 | ①特別支援教育研修会の実施状況 ②特別支援教育支援員配置状況 ③特別支援教育支援員研修会の実施状況 ④障害児就学指導委員会の実施状況 ⑤就学相談会の実施状況 ⑥特別支援連携協議会の実施状況 ⑦ICT機器を活用した授業状況 | ①特別支援教育コーディネーターの役割や各学校における就学指導の進め方等について実践的な研修を行い、担当者の資質向上を図った。 ②③市内小中学校に25名の支援員を配置した。支援員対象の研修会を年3回実施し、効果的な支援の進め方や学級担任等との連携の在り方について理解を深めた。各学校においては支援員の活用により、児童生徒の安全の確保や学習支援などが効果的に行われた。 ④⑥市障害児就学指導委員会や市特別支援教育連携協議会において、望ましい就学先の検討や関係機関と連携した一貫した支援について協議を深めることができた。 ⑤特別な支援を必要とする幼児児童生徒の実態把握と保護者への教育相談を重視するコースができた ⑦学校訪問等でICT機器を活用した授業を確認することができた。 | 4.2 | <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員の設置については、これからも最大限の配慮をお願いしたい。 特別支援員の配置により、児童生徒の安全、学習支援などが、スムーズに行なわれている。 幼・小・中・高・・・就職までを視野に入れた支援をお願いしたい。学校全体で支える体制も。 今後も適切な配慮・配置を続けてほしい。 特別支援教育支援員の配置により、効果的な学習支援がなされ、大変良かったと思う。 支援員相互間での研修や、意見交換などにより更なる資質向上を期待している。 多様な特別支援教育に対応するため良く取り組まれている。小中高12年間を見据えることも必要と思う。 特別支援教育の支援員の配置による障害児への対応が充実されている。 特別支援教育は、その対象となる児童・生徒にとって必要であるだけでなく、対象とならない児童生徒や保護者が、障害児への理解や思いやりを深めるためにも重要と思われる。継続して充実して欲しい。 |
| | | 進路指導・キャリア教育の充実 | ①地域が育むキャリア教育推進事業 ②キャリア教育担当者会 ③キャリア教育推進協議会 ④小学校職場見学、中学校職場体験学習 | ①地域が育むキャリア教育推進事業(キャリア教育推進協議会) ②キャリア教育担当者会 ③小学校職場見学学習、中学校職場体験学習 | ①-1 キャリア教育推進協議会では、事例発表を実施し、委員の方々へ小学校の職場見学学習や中学校の職場体験学習の取組内容を紹介した。 ①-2 事業所リスト「あいらキャリアサポートバンク」や、業種別モデルプランの作成を行い、受入事業所の拡大と体験学習内容の充実を図った。 ②キャリア教育担当者研修会で講師による指導講話を実施し、発達段階に応じたキャリア教育を実践するための具体的な指導法等を通じて、各学校の全体計画や年間指導計画の見直しを図ることができた。 ③中学校の職場体験学習では、事業所の協力を得て、各学校で計画どおり実施できた。小学校の職場見学や事業者の方も講師に招いた出前授業などが実施された。 | 4.6 | <ul style="list-style-type: none"> 職場体験学習をしている中学生を見かけることがある。事業所の協力があってこそ実施できている。青少年育成の気風が市全体に広がることを期待している。 職場体験学習では、職業観、勤労観、主体性を育んだり、有意義な体験活動となるよう、事業所との事前研修会が大切と思う。 学校次第で地域のとり組みもかわります。多いに連携をとってほしい。 職場体験のレポートを、それぞれのクラスで発表し合い、他の職場についても、認識を広げてもらえたらいいと思う。 職場体験をきっかけにして、地域住民が先生役になる立場になれる。その上で、地域住民として挨拶に始まり、正しい言葉使いなどを、きちんと生徒に指導できる大人でありたいと思う。 職場体験に行く前に、事業所の仕事内容など事前調査をやった上で、学習に臨んでもらいたい。 事業所の協力もあり、キャリア教育も充実してきているが、職場体験学習が一過性の体験に終らないよう事前、事後の学習も深化させてもらいたい。 職場見学、体験を受入れられる事業所の協力に感謝する。 より多くの職種や業種を体験できる事業を推進して欲しい。 仕事は、自分に合うか合わないかだけでなく、経験しながら、自分のものにしていくことの重要性なども学べる事業を推進して欲しい。 厳しい経済状況のもとで、民間事業所の協力を得るのは、大変だと思う。 |
| | | 体験活動や郷土教育の充実 | ①社会貢献・奉仕の精神を育む体験活動 ②学校の実態に応じた郷土教育の充実 | ①総合的な学習の時間研究補助事業 ②郷土の素材の教材化 | ①地域のよさを生かした総合的な学習の時間のために、体験活動を取り入れ、児童生徒にとってふるさとを再認識する場を設けることができた。 ②郷土で学ぶ事を通じて、身近な素材から発展的な学習を進めることができた。 | 4.2 | <ul style="list-style-type: none"> 郷土の特色を生かし、教材化した学習が、市内一円で行われている。 本市には多くの史跡、文化遺産、産業などが点在する。郷土の良さに気づき、誇りに思えるような活動を、積極的に取り組んでほしい。 運動会、体育祭等で郷土芸能を取り入れている学校もあり、すばらしい。 「ふるさと」を愛し「ふるさと」を語る人作りが大切。 郷土教育は、学校等で講師を招き、児童・生徒が等しく学習できるとありがたい。学校と地域の交流にもなるかと思う。 郷土の伝統行事や芸能に対して、積極的に取り組みをさせていただいている。生徒児童が大人になり、この地を離れることになっても、郷土を大切に想う心を持ち続けて欲しいと願う。 郷土の良さは子どもの頃からの体験や見聞が積み重なってわかることも多いので、大いに教材化をすすめてほしい。 加治木中学校で総合的な学習に地域の伝統芸能を入れてもらってありがたい。 2～3時間かけた史跡めぐりなどを授業に取り入れるなどで地元の文化遺産などへの関心を高める事業も必要と思う。 |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|-----------------------|------------------------|-------------------|--|--|---|-----|--|
| 学 校 教 育 課 | 児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくり | 魅力ある学校づくりの推進 | ①学校経営総合計画に基づく学校経営の推進 ②学校評価や学校評議員制度を生かした学校経営 | ①校長研修会、自己申告 ②学校の自己評価、学校関係者評価の活用 | ①学校経営総合計画(グランドデザイン)に基づく計画的・総合的な経営推進について、管理職研修会や自己申告の場で指導及び評価を行うことで、各学校において経営改善が促進され、経営の充実が図られた。 ②学校評議員会及び学校関係者評価委員会において委員の意見等を職員や家庭・地域にも紹介したり、要望等については学校経営の課題としてグランドデザインに表記したりして、改善に努めることができた。 | 4.3 | <ul style="list-style-type: none"> どの学校でもグランドデザインが綿密に作成され、学校経営の柱がはっきりと示されており、充実した経営がなされている。 学校評議員や評価委員の感想・意見などをふまえ魅力ある学校づくりに努めてほしい。 管理職の方には魅力ある学校をめざし、信念・情熱をもって学校経営に邁進してほしい。 自治会回覧で学校通信を拝見するが、愛のある教育を感じる。 それぞれの学校が持っている特性を活かして、魅力のある学校経営への充実を期待している。 学校評議員や評価委員の意見感想は、地域の声として汲み入れていただきたい。 外部の声や視点を学校内に取り入れ、改善につなげられたのは評価できる。 学校評議員会、評価委員の設置により学校の様子等が良く分る。 計画よりも実際の運営が重要と思われる。計画にとらわれない、より良い運営に努めて欲しい。 自己申告や自己評価がどうだったのか。その内容が重要と思う。 |
| | | 学校運営の充実及び教職員の資質向上 | ①管理職や教職員の資質の向上 ②学校の組織体制や指導体制の充実 | ①管理職研修会 ②学校訪問 ③指導力向上セミナーや教育実践研修会等の各種研修会 | ①校長研修会10回、教頭研修会は宿泊研修も含め12回実施し、外部講師招聘や演習等、当面する課題に応じた課題解決への取組を充実させ、管理職としての職責感や学校経営への意欲を高めることができた。 ②教育事務所との合同訪問を含め、全幼稚園、小・中学校の学校訪問を計画的に実施し、授業や表簿等の整備、経営全般において、実態に応じた指導助言を行った。 ③夏季休業中に教職員を対象に指導力向上セミナーとして実践的な研修を行ったり(延べ328人)、東京大学大学院から講師を招聘し理科授業の指導力講座を実施したり、明日の授業に活かせる実践的な研修会となった。 | 4.3 | <ul style="list-style-type: none"> 計画的に研修会が実施されている。特に、教頭研修会は大きな成果があったものと思う。 学校訪問することで、校長、教頭、先生方の意欲、情熱が伝わってくる。 指導力向上セミナー「目からうろこ」的な先生方が明日からの活力を得られるような魅力ある研修をこれからも企ててほしい。 研修会を計画的に実施され、大きな成果が得られたことと思う。 セミナーの講師ですが、教育とは全く異業種の分野から選ぶことがあっても良いと思う。民間企業など…。例えば、接客業を学ぶ等です。 管理職や教職員が自信をもてるような研修を更に工夫していただきたい。 教職員の資質向上の為研修会は必要だと思う。 研修会等を通じて、運営の充実や資質向上に努められてるのは理解できるが、どれだけの成果があったかが分かりづらい。 現場で研修等の成果が発揮されることを望む。 |
| | | 小規模校・複式教育の充実 | ①小規模校のよさを生かした特色ある教育活動 ②複式学習指導の工夫・改善 | ①小規模校・複式学習指導法研修会 ②小規模校特認校制度の実績 ③集合・交流学習の実績 | ①-1 小規模校・複式学習指導法研修会において、研究授業を通じた授業研究など、実践的な研修を実施した。 ①-2 市指導力向上セミナーに複式指導の講座を開設し、複式学級担任のほとんどの教諭の出席する中、講師を招聘した実践的な複式指導法に関する研修を実施し、指導力の向上を図ることができた。 ②現在60名が特認校に通学している。(18名が平成25年度新規)平成26年度も広報誌などを活用し、さらに周知を図っていく予定である。 ③小規模校のよさを生かしながら特色ある教育活動を推進しながら、集合学習などを教育課程に位置付け、より規模を拡大した取組も推進することができた。 | 4.0 | <ul style="list-style-type: none"> 複式学級では、児童が学び方を学んだ上で、学習に取り組む姿を見ることができた。 特認校の良さを生かした、広報活動を推進していく必要がある。 特認校それぞれが、特色ある又、魅力ある教育活動を行っている。 学校の存在が地域の要でもあり「地域力」は学校になくてはならないものとして理想の形で共存していると思う。あとは児童の確保。 特認校それぞれが、魅力ある活動を行っている。小規模校ならではの良さ・特色が更に充実できるよう支援をお願いしたい。 小規模校の良さが各校のホームページで分かるので市としてももっと広報していただきたい。(市HPのTOPページからは各校にリンクさせるなど) 市内には複式の学校があり、複式指導方法は重要だ。 特認校の目的や必要性と、実際に通学している児童及び保護者の目的や意識との間にギャップはないか。 地域の活性化のためにも小規模校の存続に資する施策を推進することが重要と思う。 |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|-------|---------------|--|---|--|--|-----|---|
| 社会教育課 | 1. 社会教育の基盤づくり | ①基盤づくりに向けた関係機関との協体制の強化 ②社会教育関係職員及び社会教育関係指導員の資質向上 ③社会教育リーダー育成 ④社会教育関係団体との連携強化 ⑤広報活動の充実と有効活用 | ①-1社会教育委員会の開催 ①-2関係機関との連絡調整の強化並びに研修会等への参加促進 ②-1職員・指導員の資質向上のための研修会等への参加促進 ②-2社会教育事業調整会議の開催 ②-3指導員研修会の開催 ③各種団体指導者研修会の開催 ④-1子ども会育成連絡協議会との連携 ④-2市PTA連絡協議会との連携 ④-3市校外指導連絡会との連携 ④-4市女性団体連絡会との連携 ④-5市青年団との連携 ④-6その他社会教育関係団体との連携 ⑤-1市報あいらの活用 ⑤-2広報誌やメディアの活用 | ①社会教育委員会の開催実績 ②課内事務事業調整会議の実施状況 ③各種リーダー・指導者研修会の開催状況 ④社会教育関係団体の活動状況 ⑤生涯学習情報の活用状況 | ①委員数15名で年2回開催。研究協議テーマ「家庭教育について～子育て支援や児童虐待防止～」に基づき、委員が各々の立場から見た家庭教育の現状と課題についての意見を集約した。 ②社会教育関係職員のスキルアップと相互連携強化を図ることを目的に、社会教育事業調整会議(年5回)と社会教育指導員等研修会(年3回)を実施し、資質向上を図った。 ③県・地区における生涯学習リーダー研修会(少年団体成人指導者、ジュニアリーダー、PTAリーダー、女性教育リーダー、高齢者教育リーダー)に42人が参加して、指導者としての資質向上を図った。 ④子ども会育成連絡協議会、市PTA連絡協議会、市校外生活指導連絡会、市女性団体連絡会、市青年団、市生活学校連絡会、市おやじの会等、社会教育関係団体に対して、補助金交付や指導助言等を通して育成支援を図った。 ⑤市民に対して、生涯学習情報を提供するシステムが構築していく必要がある。 | 4.0 | ・子育て条例を、社会教育関係団体にも浸透させる必要がある。 ・広範囲に及ぶ各種団体への支援育成は地域力の要である。各種団体とのより一層の連携強化と推進体制の充実が必要である。 ・委員会で意見交換したことを基に、周囲に還元できるように努めている。 ・社会教育に関わる団体の役割や存在を、もっと広く市民に知ってもらえるよう、広報も必要である。 ・生涯学習の情報を、より興味深いものとして市民に浸透されるよう、広報誌の活用を期待している。 ・生涯学習については、HPや紙媒体等で、くり返し広報していただきたい。 ・社会教育委員会の研究テーマが市民に伝わっていないようだ。 ・各種団体との連携、各種団体への支援は継続して推進して欲しい。 ・各種団体の構成員が重複したり、時代の変化への対応が必要な団体もあるのではないかな。 ・各種団体の構成員の意識調査等する必要があるのではないかな。 |
| | 2. 青少年教育の充実 | ①生きる力を持った青少年の育成 ②子ども会活動の充実 ③青少年関係団体との連携強化 | ①-1あいら未来特使団事業の実施 ①-2AIRAふるさと学寮の実施 ①-3AIRAふるさとチャレンジャーの実施 ①-4ムーミン講座の実施 ①-5心に残る成人式の実施 ①-6その他青少年育成事業の充実 ②-1単位子ども会活動の充実支援 ②-2子ども会育成・指導者等研修会の開催 ②-3子ども会活動参加促進のための支援 ②-4子ども会安全会加入促進のための啓発活動 ③-1ジュニアリーダークラブの育成支援 ③-2地域青少年育成団体との連携強化 ③-3青少年育成市民会議の事業展開 ③-4学校支援事業の充実と支援 ③-5スクール・サポート・ボランティア・コーディネーター(SSVC)事業の導入 | ①各種青少年育成事業の実施状況 ②単位子ども会における活動状況、育成者研修会の開催状況 ③青少年団体の活動状況、学校支援事業の実施状況、青少年育成市民会議運営状況 ④スクール・サポート・ボランティア・コーディネーター(SSVC)の設置状況 | ①-1あいら未来特使団事業(青少年国内外派遣体験活動事業):世界に羽ばたき、未来につなごう! ニュージールランド短期留学8/2～13(11泊12日)、オークランド市校外の中等教育機関での研修とホームステイによる国際交流、小2人、中5人、高3人参加 ①-2AIRAふるさと学寮(集団長期宿泊学習):6/2～8(6泊7日)、北山野外研修センター、小・中学生42人参加、共同学寮生活・和紙づくり・北山ふるさと探検隊・集団バス登下校体験、市新規採用職員研修との合同開催 ①-3AIRAふるさとチャレンジャー(体験型学習):6/15～1/18(8回実施)小学生35名参加、発掘調査体験・林間キャンプ・天文学習・ミニカーを使ったロボット技術研修 ①-4ムーミン講座(学校週休日活用郷土学習):5/25～12/21(16回実施)、小学生・保護者延べ327名参加、絵画・俳句・ふるさとの自然と芸能・竹工作・紙工作、始良退職校長会指導 ①-5成人式:1/12、新成人910名のうち660名参加、一部「二十歳の式典」(市企画主催)、二部「新成人のつどい」(実行委員会企画・運営)、新成人誓いのことば、恩師からのメッセージ・記念写真撮影 ②単位子ども会:140団体/会員3,789名、加入率57%。市子連スポーツ大会や地区子ども会大会、スケート教室などを開催した。また、地区育成者・指導者研修会で人材育成を図っている。 ③-1ジュニア・リーダークラブどんぐり:市内中高校生16名会員、社会教育事業や地域活動へのボランティア参加を図っている。 ③-3青少年育成市民会議では、青少年育成部会・家庭・環境3部会によって、あいらっ運動などの事業を実施した。 ③-4,5学校支援事業では、講師・研修先一覧表を改訂し、すべての学校へ配布した。また、人材派遣の調整役をするSSVCを設置するための事業説明会を開催し、理解を得た。 | 4.6 | ・体験活動をおとした多くの青少年育成事業が実施されている。 ・いろいろな事業で味わってきた経験・体験を自分だけのことで終らせず、多くの発表の機会を設けてほしい。 ・青少年の諸事業の情報を広報誌に紹介することは、始良市の活性化につながってくると思う。 ・魅力ある事業がなされている。(海外ホームステイはいい経験になっただろうと思う) ・子供会への加入率の低さにおどろいた。対策が必要かと。 ・子どもの自主性・社会性を培う事業が充実してきていると思う。今後、事業によっては応募が増えそうである。 ・生き生きとしたあいらっ子育成が、始良市子育ての要と思う。只今展開中のあいらっ運動は、今後も続け、大人も子供もあいらっ声かけをし合って心の扉を広げたいものである。 ・「あいら未来特使団事業」として、初めて外国に短期留学をする機会を作っていたが、本当に嬉しく思います。体験発表も素晴らしいものでした。 ・貴重な体験を仲間と一緒に活動したメンバーです。一年限りの団員ではもったいないので、OB会のような集まる機会を設けて、その後の様子など交流会形式で話し合ったり、今後参加する後輩達へ向けたメッセージなども綴ってみたいと思う。 ・様々な取組をさせていただいているが、実際に参加する子どもを増やせるよう保護者の啓発が必要なのではないかな。 ・青少年育成の取組は意義ある事業が展開されている。始良市の発展につながるのでは。 ・少子化による単位子供会の活動がしにくいという声がある。合併して、活動しやすくする必要があると思う。 ・市独自の事業も多く、児童・生徒にとって有意義な施策が推進されていると思う。 ・各地域や各種団体でスポーツ大会が開催されており、又、児童・生徒は部活やスポーツ少年団等でも活動している。市子連のスポーツ大会は必要なのか、各子ども会の意見等調査してみてもどうか。 |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|-----------------------|-----------------|---|--|---|---|-----|--|
| 社 会 教 育 課 | 3. 家庭教育・成人教育の充実 | ①家庭教育の充実 ②女性教育の充実 ③高齢者教育の充実 ④人権教育の推進 | ①-1家庭教育推進事業の実施 ①-2公立幼稚園・小学校・中学校における家庭教育学級の開設と支援 ①-3家庭教育リーフレットの活用 ①-4子育てパスポート3年の作成と活用 ①-5親子ふれあい教室の内容充実 ②-1女性学級の開設 ②-2各種女性団体の育成支援 ③-1高齢者学級の開設 ③-2世代間交流事業の充実 ④-1社会教育学級における学習機会の確保 ④-2広報・啓発活動の充実 | ①家庭教育学級の実施状況 ②女性学級「あやめ学級」の開設状況 ③高齢者学級「ゆずり葉学級」の開設状況 ④人権教育学習機会の実施状況 ⑤子育てパスポートの作成状況 | ①市立幼稚園(5)・小学校(16)・中学校(5)全てにおいて、年間委託料75,000円を一律支出して、委託業務による家庭教育学級を開設した。それまで、運営方法に相違がみられたことから、事業実施前に学級長研修会を開催した。 ②女性学級「あやめ学級」：加治木・始良・蒲生の3学級開設、5～2月(年間8回実施)、環境講座・健康講座・史跡めぐり・学校参観等、【教室生】3学級で計100名 ③高齢者学級「ゆずり葉学級」：加治木・蒲生・帖佐・重富・山田5学級開設、5～2月(年間8回実施)、健康講座・趣味と教養・史跡めぐり・学校参観等、【教室生】5学級で計86名 ④家庭教育学級・女性学級等で36回の人権学習を開催し、766人が受講した。 ⑤子育て基本条例に基づく具体策として、幼児期・小学校下学年・小学校上学年・中学校の4年齢期ごとの子育て手帳を作成した。 | 4.6 | ・子育て手帳を作成・配布したことは、大きな成果である。 ・家庭教育学級は、異学年保護者の交流の場でもある。魅力ある活動内容で参加者の増員を図ってほしい。 ・子育て手帳の活用を期待する。成長の記録としているいろいろな機会できりあげてほしい。 ・魅力ある学級が展開されている。受講者は、非常に良い見聞をされていると思う。今後も学習の成果を周囲に活けてほしい。 ・子育て手帳は、学級PTA等に持参して、皆で読み合う機会を設けたどうか。 ・子育て手帳の作成・配付により、家庭内で活用されることが期待される。共通の一冊を持つことで、保護者も安心できたのではと想像する。 ・生涯学習に性別・年齢は全く関係ないと思感できるのが「あやめ学級」や「ゆずり葉学級」の存在です。高い学習意欲に敬を表します。 ・子育て支援を更に推進していただきたい。 ・すばらしい学級、講座があるが市民の感心度が低い。 ・子育て手帳については、保護者の活用状況等について、評価をするためにも実態調査が必要と思う。 ・放送大学や通信高校、NHKの教育放送(TV,ラジオ)などにおいて、あらゆる分野についての情報提供が行なわれており、その気があれば、誰でもがお金をかけずに何でも学べる時代である。参加人数にこだわらず、地域の特性を生かした特色のある事業を進めて欲しい。 |
| | 4. 芸術文化活動の振興 | ①芸術文化鑑賞機会の提供による文化意識の高揚 ②芸術文化団体との連携強化 | ①-1青少年劇場及び芸術鑑賞事業の実施 ①-2始良10号美術展の開催 ①-3市立少年少女合唱団の育成 ①-4文化活動の支援及び発表機会の拡充 ①-5国民文化祭かごしま2015の開催準備 ②-1市文化協会との連携 ②-2市文化協会各支部への支援 ②-3市文化芸術祭の開催 | ①青少年劇場、青少年芸術鑑賞事業、始良10号美術展の実施状況、市立少年少女合唱団の活動状況 ②市文化協会の活動状況、市文化芸術祭の開催状況 ③国民文化祭かごしま2015の開催に対する準備状況 | ①-1市町村による青少年劇場[小学生対象]、演目『リーダーズ・シアターお話をいっばい』、出演：楽劇団いちよう座 【I】竜門・永原小学校：11/1(132名) 演目『サキタハジメののこぎり音楽』、出演：サキタハジメ 【II】西始良小学校：11/28(232名) 【III】三船・山田・北山小学校：11/28(167名) ①-2青少年芸術鑑賞事業[中学生対象]、演目『オペラの楽しみ』、出演：鹿児島オペラ協会 【I】山田中学校・蒲生中学校：5/22(250名) 【II】帖佐中学校：6/14(800名) ①-3第12回始良10号美術展：1/17～2/2、275人/381点出品、特選入賞32点 ①-4市立少年少女合唱団：小中学生22名団員、毎週土曜日合同練習、県少年少女合唱祭出演・市内文化祭出演・定期演奏会開催。 ②市文化協会3支部で、文化祭をはじめとする芸術文化活動を展開している。 【I】始良支部文化祭：10/20(51団体) 【II】加治木支部文化祭：10/26～27(52団体) 【III】蒲生支部文化祭：11/2～3(32団体) 【IV】市文化芸術祭(11/30～12/1) ③国民文化祭かごしま2015始良市実行委員会を設立した。 始良市においては、『邦楽の祭典』、『郷土芸能の祭典』、『歩き・み・ふれる歴史の道』を実施するため、企画委員会を開催した。 | 4.8 | ・青少年劇場は、児童生徒が本物の芸術に触れることができるいい機会となっている。 ・優れた芸術を身近に鑑賞できることは、五感に良い影響を与えることと思う。 ・学校の異なる子供たちが合唱を通じ、友情を培ったり、舞台上で歌う楽しさを味わったりと豊かな感性が育っていくことと思う。 ・三支部の文化祭は、それぞれの地域の特性を生かした出し物で、生涯学習の町としての活性的場となっている。 ・市文化芸術祭への観客動員に力を入れる必要がある。 ・芸術鑑賞事業は子供達が「本物」に触れる絶好の機会である。 ・国民文化祭是非成功してほしい。 ・いかなる文化・芸術・音楽の活動・鑑賞は、ヒトとしての情操を高めてくれると思う。機会をとらえ、積極的に関わっていければいいと思っている。 ・第30回国民文化祭が本県で開催されるにあたり、当市で3つの祭典が催されることを大変うれしく思う。躍進する始良市の心意気を示したいものである。同時に始良市誕生5周年を迎えることは二重の喜びである。 ・本物の芸術を小さな頃から肌で(五感で)感じる機会は、本当に素晴らしいと思います。芸術文化に対する興味を抱いて欲しい。 ・「国際文化祭かごしま2015」に向けて、企画委員会も発足し、開催が今から本当に楽しみである。 ・子どもの時から本物に触れる機会があるのはすばらしいことです。更に推進してほしい。 ・国民文化祭かごしま2015の広報周知活動も進めてください。 ・文化祭は出演者の発表の場となっている。 ・児童生徒の文化活動や各種芸術への関心は、情感豊かな人間性の育成にとっても重要と思う。より一層力を入れて欲しい。 ・日本の各種古典芸能への興味や理解を深める試みにも力を入れて欲しい。 |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|-------|-------------------|---|--|---|--|-----|--|
| 社会教育課 | 5. 生涯学習の推進 | ①生涯学習推進体制の整備 | ①-1生涯学習推進会議の開催 ①-2市生涯学習推進大会の開催充実 ①-3生涯学習情報の提供 | ①生涯学習推進大会の開催実績 | ①-1生涯学習推進会議企画委員会及び生涯学習推進会議を年間各2回開催。 ①-2市生涯学習推進大会:2/23(PM)、加音ホール、【プログラム】記念講演「人間大好き」タマリ氏(KTSタレント)、生涯学習の一年、生涯学習功労表彰、社会教育学級修了証授与、参加者約500名。 ※青少年地域活動発表などによる「あいらっ子」体験活動発表も同時開催した。 | 4.0 | <ul style="list-style-type: none"> ・あいらっ子体験活動発表は他の子供達へのよい刺激となっている。多くの児童、生徒に聴いてほしい。 ・タマリ氏の記念講演は、笑いと涙と感動とで、満員の会場が一体となっていた。 ・「あいらっ子」メンバーによる体験発表も、元気があり生き生きとした姿が印象的だった。同学年の生徒達ももっと大勢聴きにきてくれたら良いと感じた。同級生にも彼らの素晴らしい体験を体感して欲しいと思う。 ・推進大会は加音ホールですが、児童生徒は参加しにくいのではと思う。 ・生涯学習の情報提供が行なわれているが一般市民の感心度が低いようである。 |
| | 6. 社会教育施設の充実と利用促進 | ①北山野外研修センターの運営 ②スターランドAIRAの運営 ③椋鳩十文学記念館の運営 ④蒲生ふるさと交流館の運営 ⑤龍門陶芸・健康の里[陶夢ランド]の運営 | ①-1活用促進のための広報活動の充実 ①-2関係団体主催事業での利用促進 ①-3学校等との連携強化による利用促進 ②-1天文台運営協議会の開催 ②-2主催天文イベントの開催 ②-3観望会や出張観望会(出前講座)の実施 ②-4各種観望会や工作教室等の開催 ②-5他団体・施設と連携した天文教育の推進 ②-6施設内展示物の充実 ③-1椋鳩十関連資料の収集並びに活用 ③-2椋鳩十文学記念館専門委員会の開催 ③-3全国読書感想文コンクールの開催 ③-4マヤフェスタの内容充実 ③-5施設内展示物の充実 ④-1指定管理による施設の管理運営充実と利用促進 ⑤-1指定管理による施設の管理運営充実と利用促進 | ①北山野外研修センターの運営状況 ②スターランドAIRAの運営状況 ③椋鳩十文学記念館の運営状況 ④蒲生ふるさと交流館の運営状況 ⑤龍門陶芸・健康の里[陶夢ランド]の運営状況 | ①北山野外研修センター:学校行事、PTA活動、地域子ども会、ファミリーなど、日帰り・宿泊研修含めて、年間1,936人の利用があった。 ②スターランドAIRA:年間入館者数5,157人。観望会、工作教室など17回の主管事業で利用者増を図り、898人の参加があった。また、移動観望会や出前講座は、実施箇所が市内全域に拡大し、12件で790人の参加があった。 ③椋鳩十文学記念館:年間入館者数1,916人、主管事業として全国各地から571点の作品応募があった全国読書感想文コンクールの他、マヤフェスタ、椋鳩十企画展等を催した。 ④蒲生ふるさと交流館:指定管理者制度を導入し、特定非営利活動法人Lab蒲生郷に委託。板橋一步彫刻作品の活用を中心とした独創的かつ理想的な施設運営が図られている。年間利用者数8,444人 ⑤龍門陶芸・健康の里[陶夢ランド]:平成25年度から社会教育施設として本課所管となった。年間利用者数30,001人、特に、屋内競技場と多目的ホールの利用が多い。 | 4.2 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後共、利用者の獲得に努める必要がある。 ・各施設の利用活用促進のための趣向を凝らした活動や、広報など運営努力がなされている。今後も入場者、利用者増に工夫してほしい。 ・椋鳩十読書感想文コンクールには、全国各地からの応募があった。市内の児童、生徒も応募し、上位入賞している。 ・施設によっては、足を運ぶ機会がなく、残念に思っている。良い企画がたくさんあるので、参加を心がけたいと思う。 ・各施設で開催されるイベント等の情報発信は、広報誌を通じて広く市民に伝わっていると思います。「スターランドAIRA」で撮影された季節毎の天体写真は、見応えがあり、なかなか足を運ぶことのできない市民にとって、感動する内容だと思ふ。 ・社会教育施設の利用促進のため、学校との連携を深め興味付けする必要がある。 ・市には立派な研修センター記念館、交流館等が設置されている。市民の一層の利用を期待したい。 ・年々厳しくなる財政状況のもとでこれだけの施設の維持運営は大変と思うが、今後とも活用されるよう頑張っ欲しい。 |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|---------------|-------------|--|---|--|--|-----|---|
| 社会 教育 課 | 1. 公民館事業の充実 | ①関係機関との協体制の強化 ②公民館関係職員及び公民館関係指導員の資質向上 ③公民館講座の充実 ④公民館利用の拡充 | ①公民館運営審議会の開催 ②-1職員・指導員の資質向上並びに研修会等への参加促進 ②-2指導員研修会の開催 ③-1始良・加治木・蒲生公民館講座の実施 ③-2校区公民館及び地区公民館における学習活動の支援 ④-1公民館施設利用団体の活動支援 ④-2公民館施設利用の促進 | ①公民館運営審議会の開催実績 ②職員・指導員の研修会への参加状況 ③始良・加治木・蒲生公民館講座の実績 ④公民館施設の利用状況 | ①公民館運営審議会:年3回開催 ②研修会:県公民館連絡協議会総会、県公民館設置者セミナー、始良・伊佐地区公民館活動研究大会へ参加した。 ③18回講座:22、9～10回講座:14、短期5～6回講座:6、計42講座開設・受講者694名 ④公民館施設利用者数の推移(H24⇒H25) ・始良公民館:135,286人⇒ 0人 ・山田公民館: 3,849人⇒ 4,621人 ・帖佐公民館: 12,674人⇒ 21,976人 ・松原公民館: 27,369人⇒ 34,313人 ・脇元公民館: 10,267人⇒ 13,309人 ・重富公民館: 6,717人⇒ 9,455人 ・蒲生公民館: 28,241人⇒ 32,196人 ・年間合計数:224,403人⇒115,870人 | 4.0 | ・生涯学習に対する住民のニーズが反映され、多くの参加者が、活き活きと活動している。 ・始良公民館のリニューアルオープンで今後の運営、促進に期待したい。 ・公民館利用者数の推移に加えて、年令の現状も把握し、利用増に策を講じなければならないと思う。 ・公民館講座の閉校式では、特に舞台部門に於て、講師が受講生と共に演技されている姿が良かった。全体的に熱心さが伝わってくる閉校式だった。 ・始良公民館は、すばらしくリニューアルしている。今後暫く様子を見ながら、利用者の感想・意見を聞き機会があってもよいと思う。 ・公民館講座は年々充実してきていると思う。 ・市民の望む講座も時代と共に変化していくのではないだろうか。講座開設に向けたアンケートの回答は、広く市民一般にも呼びかけるべきだと思う。現在は、公民館講座の受講生と、同好会会員にアンケートを実施していると思うので・・・。 ・公民館講座と子ども会活動や女性学級は連携できないか。 ・公民館を有効に利用して頂きたい。特に始良公民館は設備も機能も立派。 ・家庭教育・成人教育や生涯学習の推進などと公民館講座等については、整理統合できないか。 ・各事業ごとに、推進大会とか、研究大会が開催されるが、統合するなり、各年度1大会にするなどできないのか。 |
| | 2. 公民館施設の充実 | ①施設環境の整備 | ①-1各公民館施設・設備の維持管理 ①-2施設内掲示物の充実 ①-3施設及び周辺の環境美化活動の充実 ①-4条例公民館施設の整備充実 ①-5始良公民館大規模改修工事の実施 | ①公民館施設・整備の維持管理状況 ②始良公民館大規模改修工事の実施状況 | ①-1始良公民館、蒲生公民館、加治木各校区公民館において、施設の維持保全に必要な修繕等を適宜行い、安全で利用しやすい環境を整えた。 ①-5平成24年度の繰越事業となった耐震補強工事及び平成25年度事業の始良公民館大規模改修工事を実施し、完成後3/23に完成記念式典を開催した。 | 4.4 | ・始良公民館は予定どおり改修工事が終了した。今後の利用者増につながることを期待したい。 ・始良公民館は改修工事の為職員の方々は引越しが大変だったと思う。市民の皆さんの要望にそった改修がなされている。(エレベーターの設置、トイレ洋式化、会議室の増、あいら子育て支援広場)これからの利用増加に期待したい。 ・拠点となる始良公民館が完成したことで、社会教育、文化活動が充実していくことでしよう。 ・施設の改修・修繕が、順次適切に実施され市民にとってうれしい。大事に使用するよう心がけている。 ・始良公民館がリニューアルして、益々充実した文化活動が成されることと期待する。 ・始良公民館の大規模改修が終って良かった。今後も安全で使い易い施設の維持に務めてほしい。 ・公民館や校区公民館施設充実が整備され有効に活用出来るようになった。 ・始良公民館、蒲生公民館、加治木各校区公民館の外に各自治公民館と、公民館もいろいろあるが、将来的に充分な活用がなされていくのか。特に若い世代がどうか気にかかる。 |
| | 3. 公民館組織の育成 | ①公民館組織の支援 | ①-1加治木校区公民館並びに蒲生地区公民館における活動推進のための支援 ①-2地区公民館連絡協議会の支援 ①-3校区公民館連絡協議会の支援 ①-4各公民館長及び公民館主事等を対象にした研修会の実施 | ①各校区・地区公民館活動の支援状況 | ①地区公民館及び校区公民館に対して、実情に応じた公民館活動補助金を交付している。また、条例公民館や自治公民館活動の活性化を側面から支援している。 | 4.2 | ・これからも各公民館活動への支援をお願い致します。 ・公民館のない地区の活動にどのような目配りがなされているのか。 ・校区公民館活動補助金が支給され、有効な活動資金になっている。 ・自治会活動との関係はどうなのか、所管課が異なるだけなのか。 ・自治会は行政連絡、地域活動は公民館など、整理はできないか。(コミュニティー協議会に集約されるのか。) |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|---------------|----------------|-----------------------------|--|--|---|-----|--|
| 社会 教育 課 | 1. 指定文化財の保存・活用 | ①文化財の管理・保存・整備 ②文化財の広報・活用 | ①-1文化財保護審議会の開催 ①-2文化財の整備及び環境整備の実施 ①-3文化財基本調査の実施 ①-4市誌史料集刊行事業の実施 ②-1史跡・文化財の案内及び説明板の設置 ②-2文化財マップ・パンフレットの作成活用 ②-3史跡めぐりの開催充実 ②-4郷土歴史に関する学習機会の提供 ②-5市広報誌等での住民への情報発信 | ①文化財保護審議会の開催実績 ②史跡整備事業と郷土歴史学習事業の実績 ③市誌史料集の刊行状況 | ①年間4回の文化財保護審議会を開催したほか、掛橋坂での現地研修をした始良・伊佐地区文化財保護審議会委員等研修会、県文化財研修講座等へ参加した。また、市指定文化財候補を指定すべきとして答申した。 この答申を受け、6月13日に次の3件を指定した。 ア 城野神社住明地記念碑 イ 掛橋坂 ウ 帖佐十九日馬踊り ②-1龍門司焼古窯跡改修工事を実施し、森山家について、整備のための基金設置と維持管理を行った。また、国立公園指定1周年を記念して白銀坂での歩き・み・ふれる歴史の道ウォーキングには、約60名の参加があった。 ②-2蒲生のクスの枯枝撤去と花園寺跡庭園管理設計を行った。 ③旧町に存在する古文書を解読し、郷土史研究の向上を図るとともに、「始良市誌」の基礎資料とするため、史料集「二」（加治木編）を加治木古老物語、偶陽記、龍門司焼関係文書、新納仲左衛門日記について解読、刊行した。 | 4.8 | ・掛橋坂は、龍門司坂、白銀坂と並び、始良の三坂として訪れる人が増えるようになってほしい。 ・加治木古老物語、偶陽記、龍門司焼関係文書、新納仲左衛門日記について解読、刊行され郷土史研究の向上が図られた。 ・始良市指定文化財マップは、わかりやすく、利用価値が高い。始良市の発展・観光開発の為に古の文化遺産の紹介や調査等引き続きお願いする。 ・広報誌に掲載される「郷土史」の案内は、とても読みやすく、楽しみなページになっている。 ・「始良市誌」も後世に残る立派なものになるよう願います。 ・始良市には多くの文化財があり良く整備され歴史の学習に活用してもらいたい。 ・文化財の保存は重要なことだと思う。 ・文化財巡りの巡路図などを地域住民がもっと手に入れやすくしてはどうか。 ・様々な文化財の説明板など充実させてきていると思う。 |
| | 2. 埋蔵文化財の保存・活用 | ①埋蔵文化財の保護と開発事業との調整 | ①-1埋蔵文化財発掘調査報告書の編集作成 ①-2遺跡詳細分布調査の実施 ①-3周知の埋蔵文化財包蔵地の管理 | ①埋蔵文化財発掘調査の実績 | ①-1圃場整備に係る出土品整理作業及び始良公民館駐車場用地について記録保存のための発掘調査を実施した。 ①-2遺跡詳細分布調査事業で、民間開発に係る12件の緊急調査を実施した。 ①-3開発に伴う埋蔵文化財包蔵地照会が125件あった。 | 4.6 | ・埋蔵文化財発掘調査や報告書の編集作成など地道な作業であるが、今後も発掘調査や維持管理に尽力してほしい。 ・埋蔵文化財の保護や調査には、気の遠くなるような忍耐の要る作業があると想像します。歴史を知る手がかりですので、ご尽力くださいますようお願い致します。 ・調査の成果を分かりやすく、広く市民に伝えていただきたい。 ・あまり目立たない事業だが、大切な文化財が開発の犠牲にならないよう気を配って欲しい。 |
| | 3. 郷土芸能の保存・育成 | ①郷土芸能の振興 | ①-1加治木太鼓踊り大会、蒲生太鼓踊り公開の充実 ①-2郷土芸能公開事業への支援 ①-3各郷土芸能保存会との連携と活動支援 | ①郷土芸能公開事業の実績と支援状況 | ①加治木地区(8/16)及び蒲生地区(8/21)において太鼓踊りを住民へ披露公開することができた。なお、春花太鼓踊り保存会が蒲生地区へ参加して2年目となり、スムーズな公開運営ができた。 | 4.3 | ・郷土芸能が絶えることのないよう、伝承育成に力を注いでほしい。 ・昨年の市文化芸術祭への出演など、市民が知り、味わえる機会も増やしてほしい。 ・後継者育成に力を。 ・(始良市文化協会にも所属している)春花太鼓踊りが蒲生地区の太鼓踊りに一緒に参加させて頂いていることをうれしく思う。春花の文字がどこかに残されることを望んでいる。 ・郷土芸能を維持存続させるためにも、後継者不足に悩む地区などへの聞き取り調査や支援をお願いしたい。 ・大切な郷土芸能なので、更なる支援をお願いしたい。 ・太鼓踊り保存会に助成金が支給されて大変有難い。保存・育成に大変役立っている。 ・地域の人達の役割が大きな比重を占めると思うので、活動されている皆さんへの支援に更なる力を入れて欲しい。 |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|---------------|--------------------|--|--|---|---|-----|--|
| 社会 教育 課 | 4. 施設の充実 | ①歴史民俗資料館の運営 ②加治木郷土館の運営 ③吉原事務所の運営 | ①-1歴史民俗資料館・加治木郷土館運営協議会の内容充実 ①-2常設展の充実と特別展の開催 ①-3学校機関との連携強化による出張指導の推進 ①-4歴史ボランティアガイドの育成 ①-5歴史教育普及活動の推進 ①-6講演会・歴史講座・体験学習等の開催 ②-1収蔵品等の調査・研究促進 ②-2企画展や郷土館講座等の開催 ②-3古文書等の修復・保存及び活用 ②-4学校機関における郷土学習への支援 ③-1出土品の保存管理体制の充実 ③-2埋蔵文化財発掘調査報告書の管理及び作成 | ①歴史民俗資料館の運営状況 ②加治木郷土館の運営状況 ③吉原事務所の運営状況 | ①平成9年度から開催している「ふるさと歴史講座」は、加治木・蒲生地区からの参加者もあり130名が年間を通じた歴史学習を重ねた。また、古典講読会、古文書研究会を年10回開設し、上級9名、中級12名が受講した。夏休みには、体験学習会(帖佐人形作り・印鑑作り・まが玉作り・トンボ玉作り)を実施し88名の参加があった。秋の特別展は「錦江湾の自然と生き物たち」を開催した。また、関連イベントとして湾奥の自然体験ツアー、重富干潟・松原塩田体験ツアーを実施し、76名の参加を得た。年間入場者数:2,794人 ②郷土館特別展「桜島大噴火と加治木」を桜島大正噴火100年を節目に開催した。マスコミにも取り上げられ、タイムリーな企画展となった。年間入場者数:2,704人 ③圃場整備事業及び遺跡詳細分布調査事業の出土品整理作業を実施した。 | 4.3 | ・いろいろな企画展を実施し、市民に、始良の歴史に対する興味・関心を少しでも高めるよう努力してほしい。 ・児童・生徒が興味をもち、楽しめる企画をお願いしたい。 ・すばらしい特別展が開催された。今後一層の広報、啓発活動に取り組んでいただきたい。 ・多くの市民が、郷土の歴史に対して興味・関心を持つような取り組みがなされることを期待している。 ・郷土館特別展は正にタイムリーな企画展だった。郷土館の存在や、貴重な古い建物などを、市民が知る良いきっかけにもなったと思う。 ・市民への周知広報に工夫が必要と思う。 ・各施設の事業が実施されているが、市民の関心度が低いのがとても残念である。 ・施設は、必ずしも大きくないが、収蔵品は多いと思う。もっと整理ができれば、さらに見学しやすくなるのでは。 |
| 図 書 館 | 図書館のサービス業務と読書活動の充実 | 図書館サービス業務の充実 | ①サービス業務の迅速化・効率化 ②広報活動の状況 ③運営状況の検討評価 | ①サービス業務改善と貸出し利用の充実 ②始良市報の広報活動内容 ③図書館協議会の開催回数 | ①貸出し状況 一般書 192,215冊、児童書 134,432冊 雑誌 27,382冊、AV資料 18,093冊 ②始良市報の活動内容 市報への掲載 28回 ③図書館協議会:年2回 サービス業務の改善として新たにおサイフ機能の付いた携帯電話からの貸出を開始し、貸出しサービスの充実を図った。毎月発行される市報に「ぶらっとまちかど図書館」というコーナーで最新の図書館情報を市民に提供してした。運営状況の評価及び点検では、いただいた声を取り入れたイベントも開催した。 | 4.6 | ・始良市報の広報活動の内容が充実し魅力ある図書館として利用者への増加につながってきている。 ・利用者へのサービス業務の改善に努めている。 ・携帯電話で貸出し可能と身近に気軽に利用でき更に利用増が図れることと思います。 ・サービス面では、進取の気運があり、利用者には難しい。特に、図書館フェスティバルの内容は多彩で、次回は、ビブリオバトルの会場を観戦してみようと思う。 ・携帯電話の機能を利用した貸出サービスの開始は、時代の流れを良く汲み入れており、若い世代の図書館利用増にも効果が出るのではと思う。 ・斬新な発想を今後も期待しています。 ・新しいサービスも取り入れ、更に充実するものと期待される。市報の記事も読み易くして良い。 ・サービス業務の改善策が利用増加につながれば。 ・図書館が利用しやすくなった。 |
| | | 読書活動の充実 | ①子ども読書活動の推進 ②予約の推進 ③関係機関・団体等との連携 ④図書館ボランティア育成 | ①家庭・地域・学校との連携 ②予約に対する実績 ③関係機関への読書活動実績 ④図書館ボランティア員数 | ①子ども読書活動 お話し会 年:61回、ブックスタート 年:36回 ②予約の件数 予約・リクエスト 10,800件 ③市内小・中学校の読書活動など 出前読み聞かせ 年:11回 見学・研修等受入 年:39件 ④装丁ボランティア(花木水 12人) 読み聞かせグループ(あいあい 18人) 子ども読書活動の推進として「子ども読書の日」に合わせ、教育委員会の関連機関と連携し、市内全小中学校を対象に「ものがたりレシビをいただきます」という事業を新たにを行い、子どもたちに新たな本の魅力を伝えた。 | 4.4 | ・新しい事業を企画し、話題にもなった。今後とも、新企画を考えてほしい。 ・読書活動を支えて下さる、装丁ボランティア、読み聞かせグループの方々の年間を通しての活動に感謝です。 ・「ものがたりレシビをいただきます」新規事業は子供達の心をつかんだのではないかと思います。 ・利用者側に立った目線での取り組み楽しみです。 ・「ものがたりレシビをいただきます」のアイデアはすばらしい。 ・文明化の商品やPC・ITの時代になっても「読み聞かせ」という心温まる習慣が根強く続けられていることを大変嬉しく思います。デジタルの時代だからこそ、人の声が聴く人の心を打つのでしょね。 ・読み聞かせボランティア等の活用・育成に一層力を入れていただきたい。 ・読み聞かせ活動が読書活動になって行くのではないかと。 ・学校での読書活動は、児童・生徒・保護者がそれぞれ力を入れており、各小中学校の活動をいかに連携が重要と思う。 |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|-------|------------------|--------------|---|--|---|-----|--|
| 図書館 | | 視聴覚ライブラリーの充実 | ①視聴覚ライブラリーの利用促進 ②県視聴覚ライブラリーとの連携強化 | ①視聴覚ライブラリーの利用者実績 ②県視聴覚ライブラリーの資料提供 | ①視聴覚ライブラリーの貸出 ・機材 124団体 利用者 5,861人 ・教材 101本 利用者 3,853人 ②県視聴覚ライブラリーからの借用 ・教材 毎月20本 教育関係者や市民団体の依頼により県視聴覚ライブラリーが所有する視聴覚資料を借用して貸出したり、特設コーナーを設置して利用促進に努めた。 | 4.3 | ・利用できる団体への広報にも努めていただきたい。 ・視聴覚ライブラリーの利用が減少してきている。広報等での工夫が必要。 ・視聴覚ライブラリーのNeedsが、年々減少しているのだと思う。その中であって、利用促進に様々な努力をしていることは、大変評価できると思います。 ・利用者が限られた人にならないよう広報を充実させていただきたい。 ・パソコンやインターネットの普及により、視聴覚教材の利用にも変化が生じているのではないかと。需要に見合った事業の推進が必要と思う。 |
| | 始良市立図書館ネットワークの充実 | 図書館システムの有効活用 | ①始良市図書館の機能の充実 ②始良市内図書館、図書室間の図書配送システムの充実 ③県立図書館や他市町村図書館とのネットワークの充実 | ①各図書施設とのシステム共有化 ②市内各図書館及び図書室の配送状況 ③鹿児島県公共図書館横断検索の利用者実績 | ①市内どこの図書館・図書室からでも貸出・返却やインターネットを通じて図書資料の検索や予約ができるようになり、機能が充実した。 ②配送係員が常時平日の午前中に各施設を巡回し、安定した図書資料の配送を行った。 ③ネットワークを利用した貸出(相互貸借) ・利用者 28人 ・利用冊数 41冊 おサイフケータイ機能の付いた携帯電話からの貸出を可能にし、機能の充実に努めた。 ・利用登録者183人 | 4.6 | ・地域の生涯学習の拠点として利用者のニーズに応えたサービスが提供されている。 ・統一が図られたこと評価できる。 ・図書館がこれまでの静寂さだけではなく、だれもが気軽に出かけられる明るい場所という印象を受けている。 ・インターネットによる予約が出来るようになり、借りる側に変便利になった。 ・おさいふケータイ機能については、今後更に広報して若い世代に知ってもらいたいと思う。 ・係は大変苦勞されると思うが、本当に充実してきたと思う。 ・貸出し返却がスムーズになり機能が充実している。 ・技術の進歩に沿ったシステムの活用は、評価できる。 |
| 保健体育課 | 生涯スポーツの推進 | 生涯スポーツの充実 | 健やかスポーツライフ、地域の恒例事業、ニュースポーツ普及 | 各大会の参加者実績 | スポーツ活動を通じ、市民の健康増進や親睦を深めた。 ①混成ナイターバレーボール大会(418名) ②壮年ナイターソフトボール大会(369名) ③スポーツフェスティバル(1089名) ④義弘公奉賛武道大会(弓道)(561名) ⑤義弘公奉賛武道大会(剣道)(817名) ⑥校区対抗スポーツ大会(177名) ⑦加治木駅伝競走大会(1,059名) ⑧始良ウォーキングフェスタ(130名) | 4.2 | ・予選が必要な大会もあり、それを考慮すると多くの市民がスポーツに親しんでいるものと思われる。生涯スポーツの裾野をさらに広げていただきたい。 ・各種大会が実施され、市民の健康増進や親睦が深められているが参加者を増やす為の広報の工夫も必要である。 ・今後も「参加楽しみ型スポーツ」と「競技型スポーツ」両方をバランスよく企画し、市民の健全アップを図って下さい。 ・生涯スポーツの実践が、様々な競技種目において実施され、熱戦がくり広げられた。 ・毎年実施される大会なので、季節を感じる面もある。 ・市全体が参加できるような地区対抗大会と参加者を増やす工夫を更に望みたい。 ・スポーツは健康増進と親睦を深められている。今後も継続を願いたい。 ・種目別の大会は、それぞれ必要と思うが内容や開催日など整理統合が可能なものはないか。(各地域や団体の開催するスポーツ大会も考慮して。) |
| | | 指導体制の整備・充実 | スポーツ推進委員の資質向上と充実 | 指導者研修と教育委員会との連携 | ①年6回の定例スポーツ推進委員会を開催。 ②地区・県・九州地区スポーツ推進委員研究大会へ参加することにより指導体制、資質の向上が図られた。また、各種大会の運営、指導を行い、生涯スポーツの推進を図った。 | 4.2 | ・研究大会への積極的参加により、推進委員の資質向上が図られている。 ・スポーツ推進委員の資質向上に向けた研修が開催され、更なるスキルアップが成されたと思う。 ・公民館活動とスポーツ推進の連携はできないか。 ・各地区にスポーツ推進委員が配置されているので、軽スポーツやニュースポーツ、生涯スポーツの普及に活用してもらいたい。 |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|-------|-----------|------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|---|-----|---|
| 保健体育課 | 競技スポーツの推進 | スポーツ団体等の育成・充実・スポーツ施設設備の整備・促進 | 体育協会・始良スポーツクラブ・スポーツ少年団との連携・社会体育施設の充実 | 各協会への支援状況 指定管理者との連携 | ①体育協会等へ補助金を交付し、組織力の強化、競技力の向上、少年団活動等の育成を図った。 ②指定管理者による社会体育施設の維持管理については、民間のノウハウを活用した運営が図られた。 ③西南学院大学(2/4～2/13)・亜細亜大学(2/17～3/2)・旭川大学(3/12～3/20)の3大学の硬式野球部が合宿を実施。 | 4.0 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の部活生や、スポーツ少年団など合宿している大学生との交流の企画などがあってもよいと思う。 ・スポーツ少年団指導者育成に支援が必要と感じる。 ・大学のスポーツ合宿に誘致できたことは、経済面のみならず、市民が良い刺激を受けることになったと思います。大学生と交流を図るような機会があれば面白いと思います。 ・大学の合宿を更に誘致していただきたい。 ・近年スポーツ少年団の過度な練習と対外試合が多く、保護者の負担になり団員数の減少の原因になっている。 ・競技スポーツは部活から始まると思うがその支援に力を入れて欲しい。 |
| | 学校体育の充実 | 児童生徒の体力づくり | 教科体育・教科外体育指導状況 | 教科体育・教科外体育指導内容と全国体力・運動能力調査との比較 | <ul style="list-style-type: none"> ①全ての小・中学校で体力・運動能力調査(新体力テスト)を実施し、過去3年間で最もよい結果であった。また、25年度の結果を分析した資料を各学校へ配布した。 ②研究公開(1校)を実施し、運動の特性や体力を図る授業について研修を深めることができた。保護者や地域の参加もあり好評を得た。 ③水泳記録会において、新記録7個、陸上記録会では、新記録8個が誕生した。 ④「チャレンジかごしま」において、2年連続北山小学校が学校賞を授賞した。 ⑤体力向上リーフレットを配布しその活用を図った。 ⑥教職員を対象とした体育実技研修会を実施し、教職員の資質向上を図った。種目:「マット運動」「柔道」 ⑦県と連携して次期国体に向けた競技力向上を図った。(中学校部活動への本部講師を派遣) | 4.4 | <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生の体力が少しずつ向上していることは嬉しい。しかし、体力の二極化という言葉があるが、運動に親しませる工夫をお願いしたい。 ・体力向上に向けての取り組みは、家庭との協力が必要である。 ・オリンピック、国体が数年後には開かれる。始良からも出場選手がうまれるよう指導者の育成、児童生徒の育成に力を注いでほしい。 ・学外での運動をする子供達が減ってきている中(二極化)学校体育の充実はとても大切になってきている。 ・家庭でのとりくみも効果はあると思う。 ・体育授業時の準備運動・整理運動がしっかり実施できるように指導されたい。 ・ラジオ体操等きちんと行えば結構なバランスのよい運動かと思う。 ・2020年「東京オリンピック」と「鹿児島国体」が開催されます。始良っ子達が選手として選ばれる可能性も大きく、楽しみである。 ・良い成果が出ている。更に向上するよう支援してもらいたい。 ・今後も小中学校の体力向上、運動能力向上の為に指導して頂きたい。 ・能力ある児童生徒が、より大きな大会へ参加し、更に能力を伸ばす機会を持ちやすい支援も必要ではないか。 |
| | 学校保健の充実 | 健康診断・学校安全・組織の充実 | 健康診断結果とスクールガードリーダー配置事業 | 健康診断・スクールガードリーダー配置事業実績 | <ul style="list-style-type: none"> ①学校保健安全法に基づき、健康診断や就学児検診を実施し、疾病等が見つかった子どもの保護者へ、就学前に治療を行うよう指導した。 ②養護教諭部会を計画的に研修を行ってために、始良市としての一体感が醸成された。 ③地域安全ボランティアやスクールガードリーダー等と十分な連携を図り学校安全体制の一層の充実を図った。(見守り隊への帽子の配布) ④幼児・児童生徒等の安全の確保を図るため、学校(園)の施設及び設備の安全点検を実施し、危険箇所が見られた場合は早急に改善処置を講じた。 | 4.6 | <ul style="list-style-type: none"> ・多くのボランティアの方が、子供たちの登・下校を見守ってくださっている。地域力、地域の教育力の高さを感じている。 ・児童・生徒の通学路における安全については、スクールガードリーダーを中心とした地域の方々との協力が大きい。 ・「慣れ」と「慢心」は禁物。くれぐれも学校を含めた施設環境の安全点検は徹底して下さい。皆が情報を共有させる体制作りをお願いしたい。 ・地域ボランティアの方々には頭が下がります。 ・小さな命を皆で見守りたいですね。 ・地域安全ボランティアの皆さまには、本当に感謝しています。幼稚園児から高校生まで市内で学ぶ子ども達の安全を見守ってもらっている。 ・学校内や登下校時に、重大事故が起きていないことはすばらしい成果である。 ・子供はとんでもない所でケガをする。最善の注意を払い改善ヶ所は早急に改善して頂きたい。 ・各地域で多くのボランティア活動がなされており、ありがたいと思っている。 ・保護者自身ももっと積極的に、見守り活動に参加できればいいのだが。 |

| | 重点施策 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価の着眼点 | 平成25年度の成果と課題 | 評価 | 評価のコメント |
|---------------|---------|-------------|------------|-------------------|--|-----|---|
| 保健 体育 課 | 学校給食の充実 | 給食内容の充実 | 安心・安全な学校給食 | 安心・安全な学校給食運営 | ①「食物アレルギー対応の手引き」に基づいて、全小・中学校で統一した取り組みを行った。食中毒発生は0件であった。 ②栄養バランスのとれた献立作成のため、栄養教諭協議会において指導・助言を行った。 | 5.0 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食は、子供たちに安全で、かつ、栄養バランスを考慮されたものを提供することが第一である。各給食センターや調理場では、最大限の努力をしていることと思う。 ・食物アレルギー対応に関しては、全職員の取り組みが必要である。 ・栄養教諭による、バランスのとれた献立が作成されている。 ・給食はおいしい。 ・「アレルギー対応の手引き」は熟知(熟読)して先生方はあたってほしい。常に危機意識をもって。 ・安心で安全な学校給食が提供されている。 ・栄養面はもちろんだが、美味しい給食を作っていたら、学校給食の有り難さを実感できる。 ・今後とも重大事故が起きないよう配慮をお願いします。 ・安心安全な運営がなされており、食中毒0件は当然。今後もすばらしい運営がなされるように願いたい。 ・社会全体が貧しかった時代よりも、豊かになった現代の方が、給食の重要性が増していると思う。 ・バランスのとれたおいしい給食の提供に努めて欲しい。 |
| | | 食に関する指導の推進 | 児童・生徒への指導 | 食に関する学校の指導計画の策定状況 | ①食育推進事業をスタートした。特に食育推進校の指定や調理員のスキルアップ研修を通して食に関する指導の充実を図った。 ②栄養教諭の在籍しない学校には兼務発令を行い、食に関する指導を行った。地場産物の活用を推進し、生産者や生産地を紹介し、食育の推進を図った。 ③心を育む食育講演会を新規に開催し、家庭における食育の推進を図った。 | 4.5 | <ul style="list-style-type: none"> ・生産者と交流する場を設けることで、生産者の努力や気持がわかり、感謝していただくこと、残食をなくすことなど学ぶと思う。又食に困窮する国や、子どもたちのいることを知る機会も設けてほしい。 ・子ども達の健やかな成長のために食育講演会を開催し、食育の大切さを図られたことは、これから保護者の意識改革につながると思う。今後も続けてほしい。 ・給食は、一日に必要な栄養バランスの一翼を担っていると思う。今後も子供たちの為に最善を尽されたい。 ・栄養教諭・調理従事員の方々が、他校の給食試食の機会があってもよいかなと思う。 ・地場産の食材を使うことで、地域とのつながりが深くなると思う。生産者との交流を通じて、食物を祖传にしない心が自然と身に付いてくると思う。 ・食と健康や命の関係について、更に理解できるよう推進していただきたい。 ・学校での食に関する指導は重要性が増していると思う。 ・保護者の食育に対する意識や関心がどうなのか気になる。 |
| | | 衛生管理体制の整備充実 | 危機管理意識の高揚 | 調理従事員の意識高揚 | ①学校給食関係者衛生管理研修会を開催した。学校給食衛生管理基準に基づいた施設・器具・食材等の衛生検査や調理従事員の健康管理等の意識高揚に努めた。 ②調理員スキルアップ研修会を初めて企画し、調理員の資質の向上を図った。 | 4.3 | <ul style="list-style-type: none"> ・調理員スキルアップ研修を始めたことは、評価できる。 ・衛生管理や危機意識の高揚に努めてほしい。 ・調理員の管理体制、又お互いのチェック体制を整えこれからも高い危機意識をもち事故なきことを願う。 ・衛生管理の研修会や、調理員のスキルアップ研修など、資質の向上を図ったことが大変評価できる。 ・安心安全な給食のため計画的な研修の機会をお願いします。 ・食物アレルギーや食中毒の問題も発生しておらず、皆さんの努力が実を結んでいると思う。 |
| | | 施設の充実 | 施設の機能化 | 組織の活動内容等 | ①給食運営委員会の開催(センター年3回)計画的に給食運営委員会を開催し、給食費の適正な収納・支出状況について協議し、健全な給食運営を行っている。 ②栄養教諭等協議会の開催(毎月1回)栄養教諭が連携を図り、献立検討や食に関する指導について協議し、食育の推進を図った。 ③小学校給食室別棟建設事業 25年10月より工事着手(工期26年9月) ④学校給食在り方検討委員会の開催(4回)年度末に報告書の提出があり現在始良市のホームページ上で公開している。(委員15名) | 4.3 | <ul style="list-style-type: none"> ・給食運営委員会による給食運営の適正化や栄養教諭等の協議会の充実を図り栄養バランスの取れた献立や地場産物の活用、食育の充実などに取り組んでいる。 ・学校給食在り方検討委員会にて、非常に細部に渡り(ソフト面・ハード面)検討されまどめられている。 ・定期的に委員会や研修会が開催されている。 ・「あり方検討委員会」の報告書によると、基準に不適合の施設もあるようだ。安全安心な給食のため改善を急いでほしい。 ・施設面においても、安心、安全な給食の提供に努めて欲しい。 |